



経済産業省

九州経済産業局

Kyushu Bureau of Economy, Trade and Industry

九州経済の現状

(2023年版)

経済産業省
九州経済産業局

カラー版PDFデータ：

九州経済産業局



[経済動向・統計](#) > [経済動向（鉱工業動向等）](#)

目次

はじめに..... 3

1. 九州経済の概要..... 4

2. 農業..... 1 1

3. 製造業..... 1 3

 [トピックス]「新生・シリコンアイランド九州」への歩み..... 1 7

4. 貿易..... 2 2

5. 消費..... 2 4

6. 雇用..... 2 7

7. 設備投資..... 2 8

8. 住宅..... 2 9

9. 開業・廃業..... 3 0

10. 倒産..... 3 2

参考..... 3 4

※データ利用上の注意

- ・各データの地域ブロック区分は、経済産業局の所管区分により、全国を北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の9ブロックに分類している。
そのため、当資料の「九州」は、注などの記載がない限り、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県を表す。
- ・出所元の統計データに秘匿がある場合は、全国比などの数値が実態と合わないことがある。
- ・本書掲載の図表やデータを使用する際は、出所元の最新情報を確認し、無断で使用しないこと。
- ・グラフの出所は2024年4月末時点の最新データをもとに九州経済産業局作成。
- ・年間補正等により数値が変更される場合がある。
- ・調査対象の見直し等によりギャップが発生している場合、前年(同期、同月)比増減率は、ギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している。
- ・当資料の表、グラフの数値は、単位未満を四捨五入しているので合計と内訳が一致しない場合がある。

はじめに

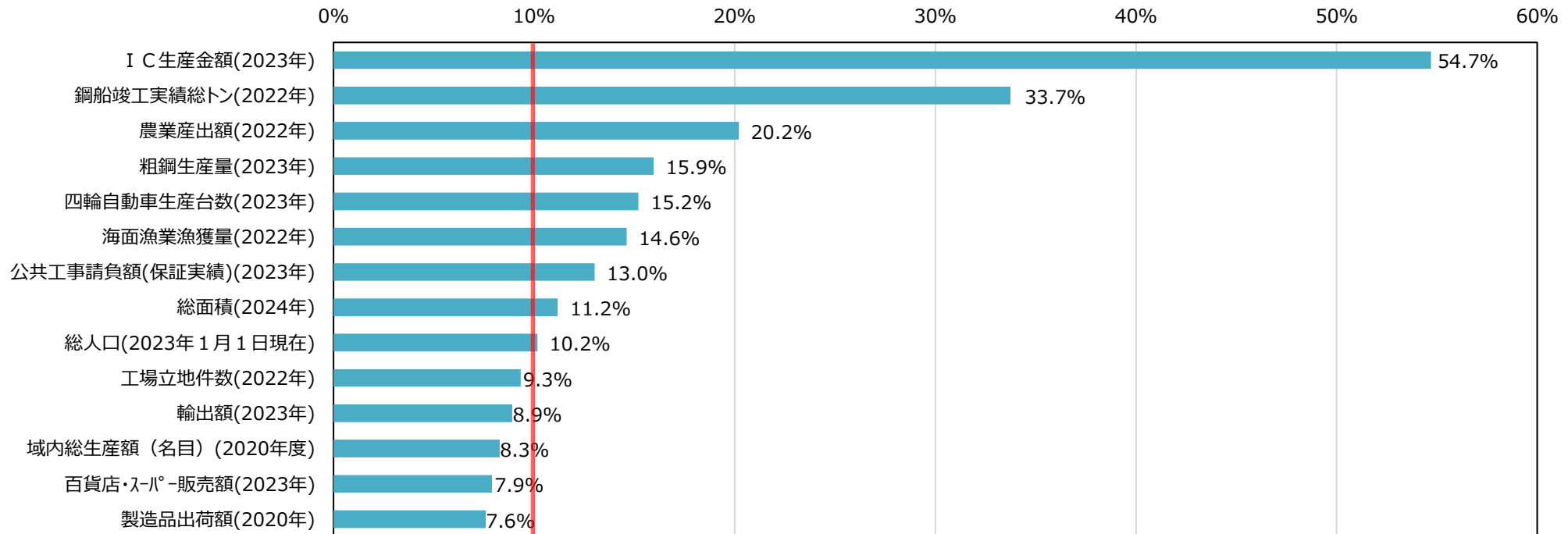
九州は、日本の南西部、東アジアのほぼ中心に位置しており、古来より海外との交流拠点としての役割を担ってきた。現在では仁川、上海、台北等の主要都市へ概ね3時間以内で行くことができるなど、日本におけるアジアの玄関口である。2020年以降コロナ禍により大きな影響を受けた海外との往来は、国際定期便の運行やクルーズ船の寄港が順次再開し、さらなる増加が期待されている。

また、温暖な気候を有する豊かな自然環境を背景に農業地域として発展した九州は、19世紀後半から20世紀の初頭にかけて、官営八幡製鉄所の設立をはじめ、造船、石炭産業等、海外からの技術導入により明治日本の産業革命において大きな役割を果たした。近年では、産業構造の変化に伴い半導体や自動車に関連する産業の集積が進み、生産拠点としての役割をより一層増しつつある。

1. 九州経済の概要 ―経済規模―

九州は、人口(全国比10.2%)や面積(同11.2%)、域内総生産額(名目)(同8.3%)といった、経済の基礎となる指標は概ね全国の10%程度であることから、九州の経済規模は「1割経済」と言われている。

図表 1 - 1 全国に対する九州のシェア



(出所) 国土交通省「造船造機統計調査 造船統計月報」、農林水産省「令和4年生産農業所得統計」、「令和4年漁業・養殖業生産統計」、国土交通省「令和6年全国都道府県市区町村別面積調」、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、財務省「貿易統計」、内閣府「令和2年度県民経済計算」、総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」、経済産業省「生産動態統計調査」、「商業動態統計月報」、「工場立地動向調査」

1. 九州経済の概要 ー域力ー

九州の域内総生産額はオーストラリア、ナイジェリアと同等の経済規模である。

図表 1 - 2 地域ブロックの“域力”

	国名及び 地域名	域内総生産 (100万米ドル)	人 口 (千人)	面 積 (万Km ²)		国名及び 地域名	域内総生産 (100万米ドル)	人 口 (千人)	面 積 (万Km ²)
1位	アメリカ合衆国	21,060,474	331,003	983	17位	オランダ	909,793	17,135	4
2位	中国	14,687,744	1,439,324	960		近畿	835,832	21,377	3
3位	日本	5,048,300	126,146	38	18位	スイス	752,248	8,655	4
4位	ドイツ	3,889,669	83,784	36	19位	トルコ	720,289	84,339	78
5位	イギリス	2,704,609	67,886	24	20位	サウジアラビア	703,368	34,814	221
6位	インド	2,672,204	1,380,004	329	21位	台湾	673,252	23,817	4
7位	フランス	2,639,009	65,274	55		中部	607,380	13,557	3
	関東	2,400,432	52,395	7	22位	ポーランド	599,443	37,847	31
8位	イタリア	1,896,755	60,462	30	23位	スウェーデン	547,054	10,099	44
9位	カナダ	1,645,423	37,742	998	24位	イラン	543,654	83,993	163
10位	韓国	1,644,313	51,269	10	25位	ベルギー	525,212	11,590	3
11位	ロシア	1,489,362	145,934	1,710	26位	タイ	500,225	69,800	51
12位	ブラジル	1,448,566	212,559	852	27位	オーストラリア	435,225	9,006	8
13位	オーストラリア	1,431,725	25,500	769		九州	433,129	12,884	4
14位	スペイン	1,276,963	46,755	51	28位	ナイジェリア	429,899	206,140	92
15位	メキシコ	1,090,515	128,933	196	29位	アイルランド	425,852	4,938	7
16位	インドネシア	1,058,689	273,524	191	30位	イスラエル	407,101	8,656	2

(出所) 各国データ(日本を含む)：総務省「世界の統計」

国内地域ブロックの域内総生産：内閣府「令和2年度県民経済計算」

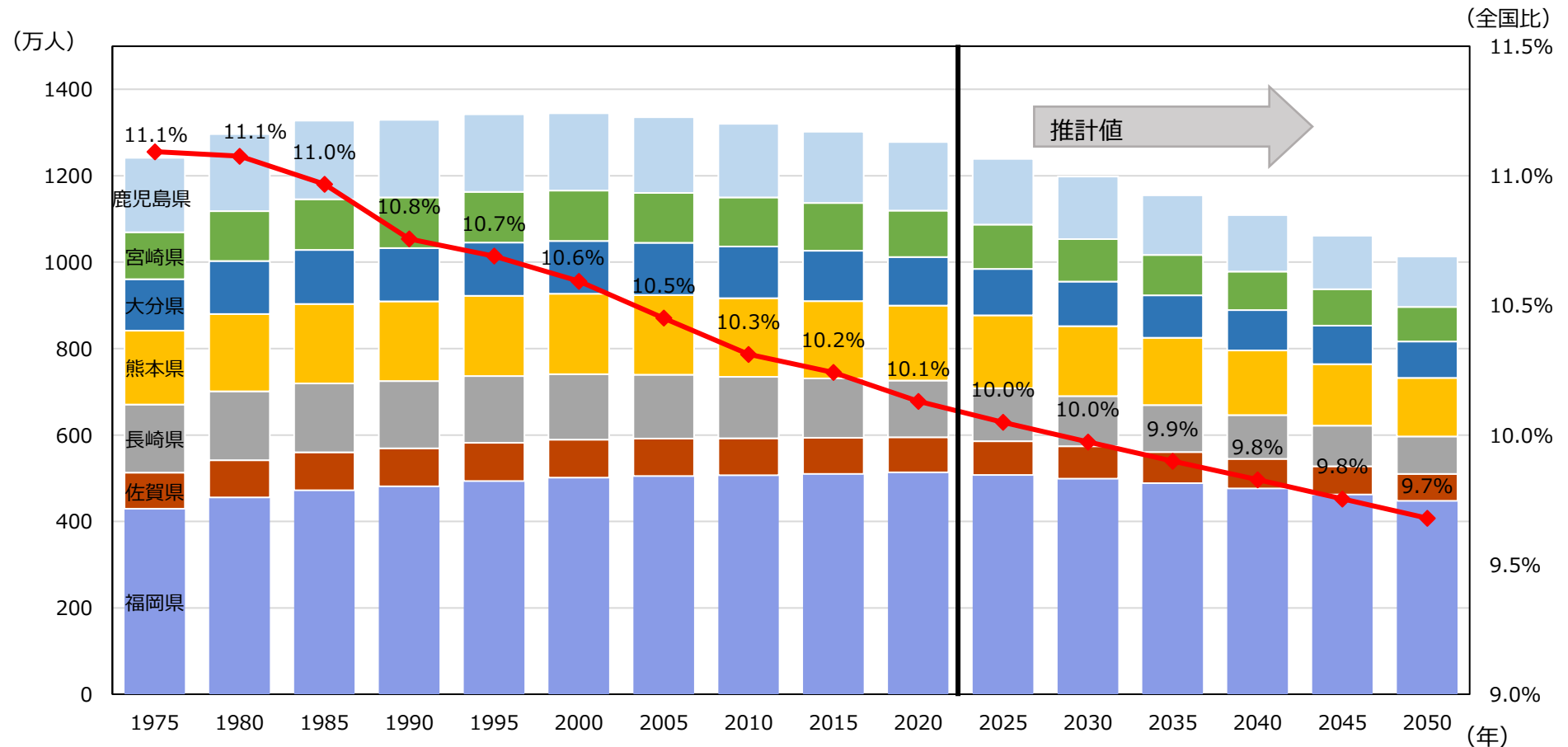
国内地域ブロックの人口：総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数（令和3年1月1日現在）」

国内地域ブロックの面積：国土交通省「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」

1. 九州経済の概要－人口推移－

九州の人口は1,278万人(2020年)と全国(1億2,615万人)の10.1%を占めているが2000年をピークに減少しており、2050年には1,013万人と、2020年比で20.7%減り、全国比も9.7%まで減少すると推計されている。

図表 1 - 3 九州の人口推移

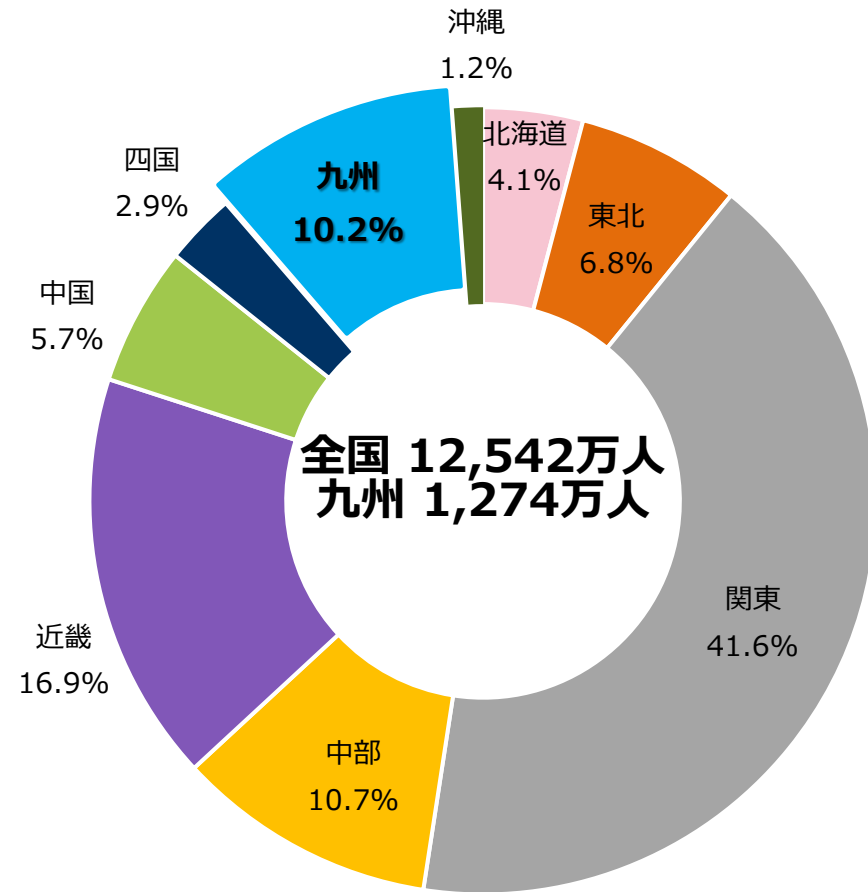


(出所) 2020年までは総務省「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年（2023）年推計）」

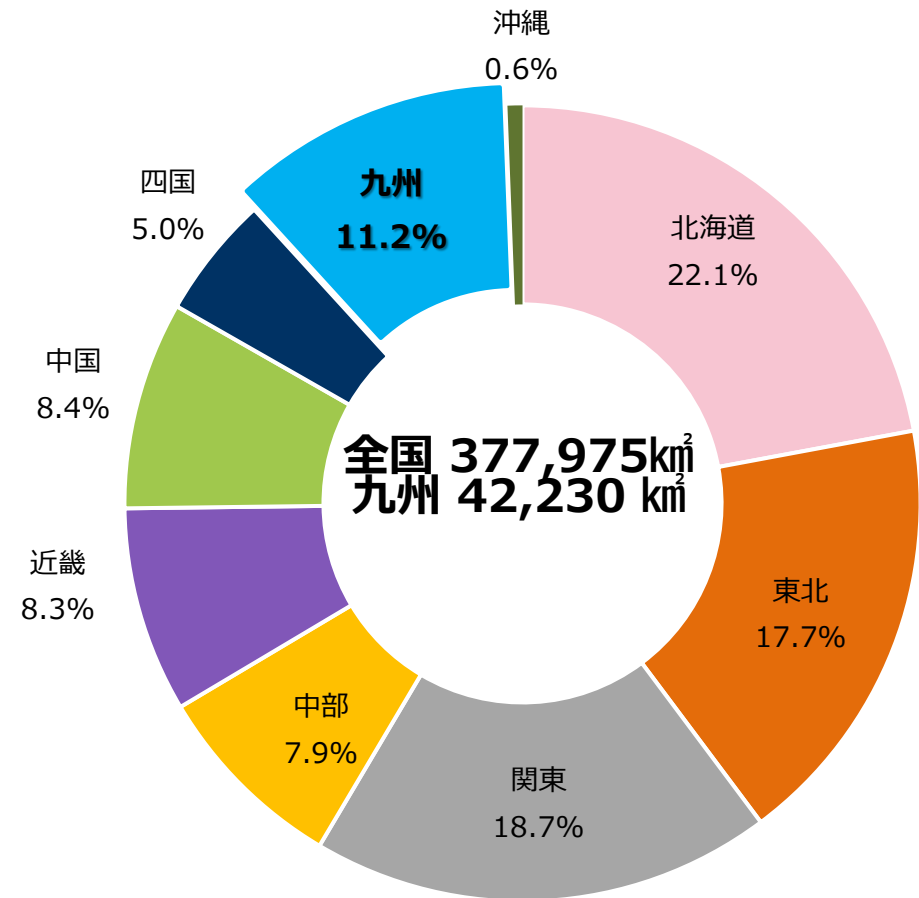
1. 九州経済の概要 –人口と面積–

九州の人口は1,274万人で全国の10.2%、面積は42,230 km²で全国の11.2%を占める。

図表 1 - 4 ブロック別人口構成比



図表 1 - 5 ブロック別面積構成比



(出所) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(令和5年1月1日現在)

国土交通省「令和6年全国都道府県市区町村別面積調」(令和6年1月1日時点)

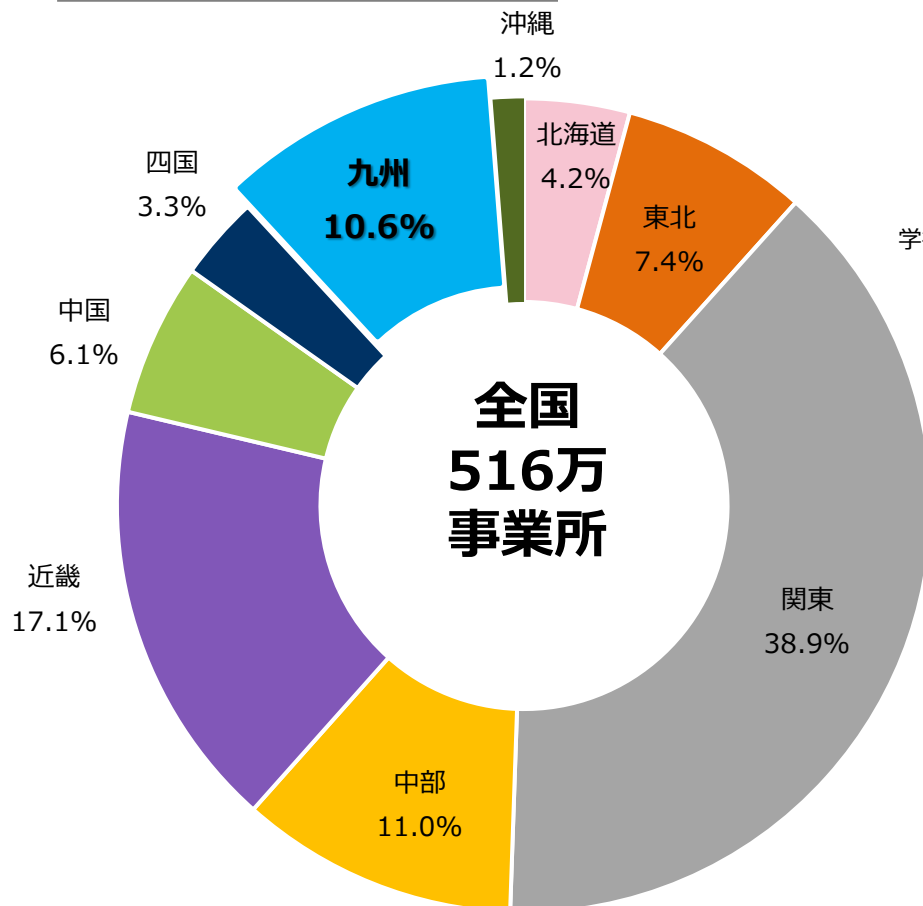
(注) 県境の未定地域については参考値を使用

1. 九州経済の概要 –事業所数–

九州の事業所数(民営)は、約55万事業所で、全国の10.6%を占める。

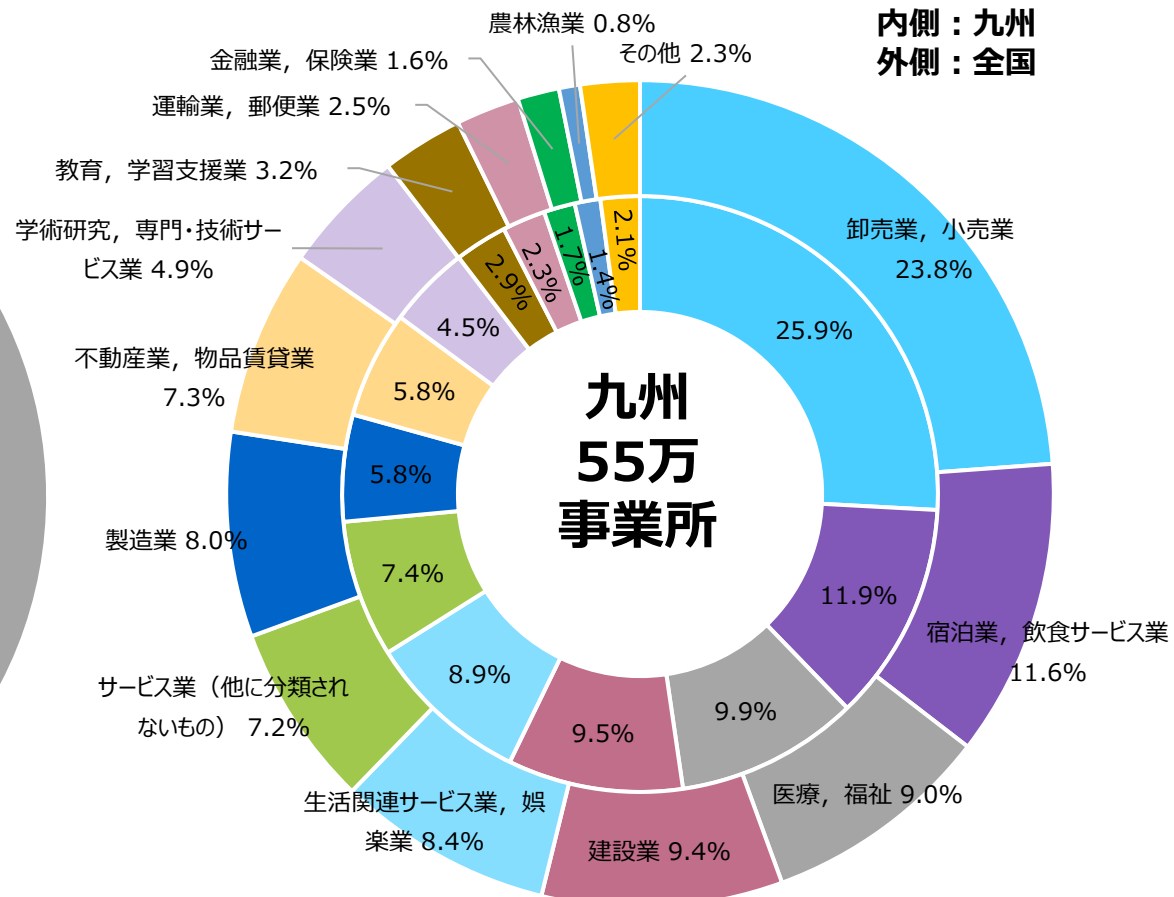
事業所別構成比をみると、全国に比べて卸売業・小売業、医療・福祉等が多い一方で、製造業、不動産業・物品賃貸業は少ない。

図表 1 - 6 ブロック別事業所数構成比



(出所) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」

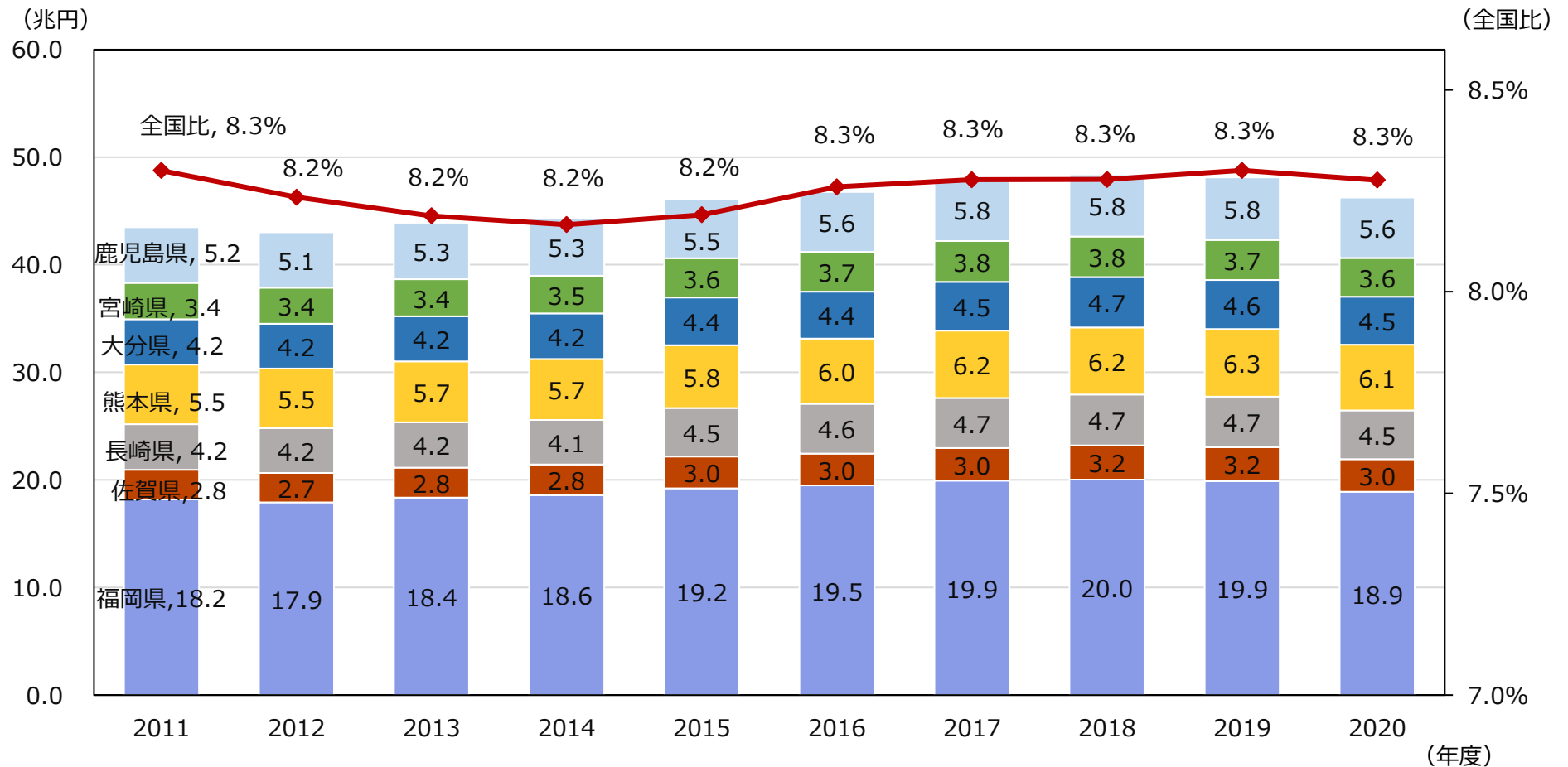
図表 1 - 7 業種別事業所数構成比



1. 九州経済の概要 ―域内総生産の推移―

2020年度の九州の域内総生産額(名目)は46兆2,474億円、前年度比▲3.9%、全国比8.3%となった。

図表1-8 九州域内総生産額(名目)・全国比の推移

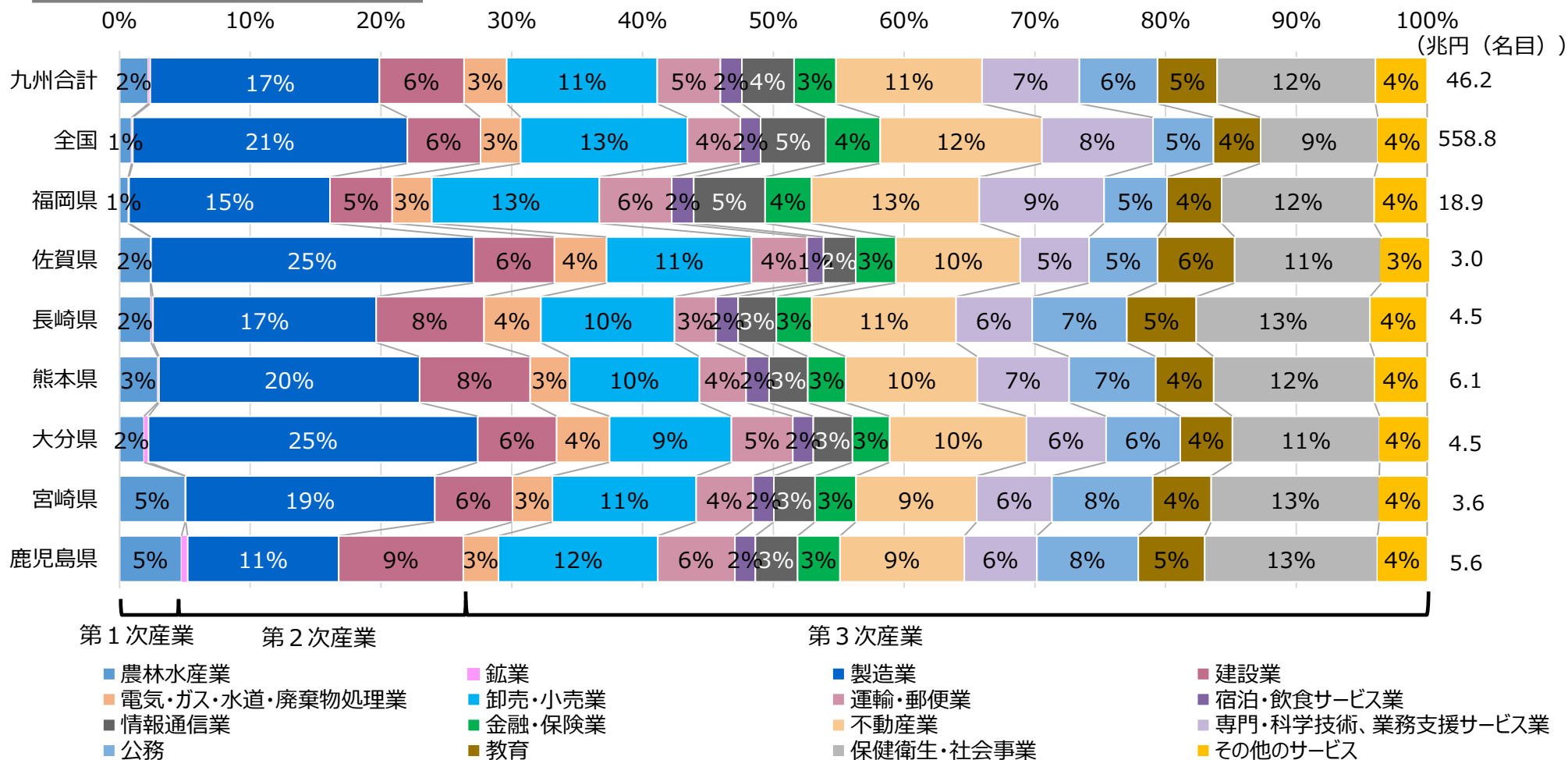


(出所) 内閣府「令和2年度県民経済計算」

1. 九州経済の概要 ―産業別域内総生産―

2020年度の九州の産業別構成比は、第1次産業2.2%、第2次産業24.0%、第3次産業73.3%となっている。県別にみると福岡県の第3次産業は78.8%と全国及び九州を上回っている。また、佐賀県、大分県の製造業の割合は全国を上回っている。

図表 1 - 9 経済活動別県内総生産



(出所) 内閣府「令和2年度県民経済計算」

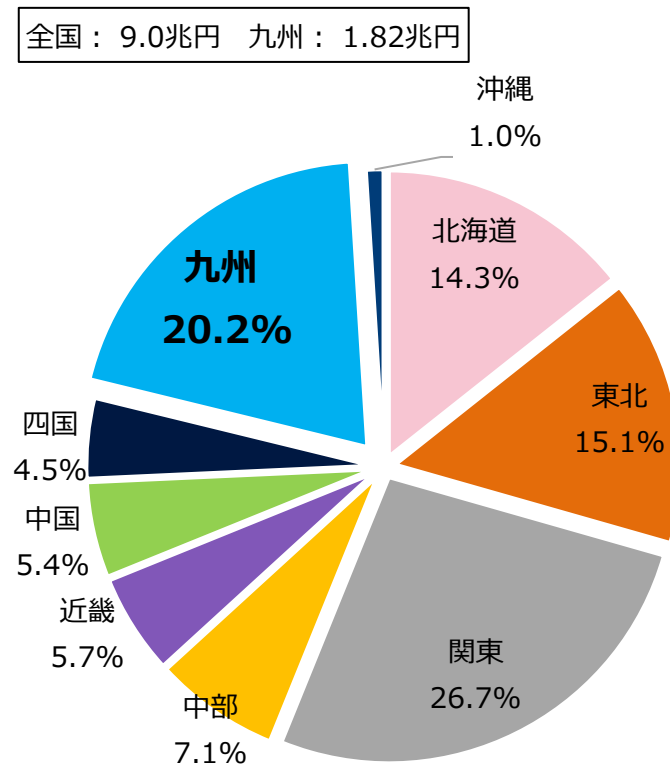
(注) 産業別構成比は域内総生産額を分母として算出しており、合計は100%にならない

2. 農業 –ブロック別産出額、推移–

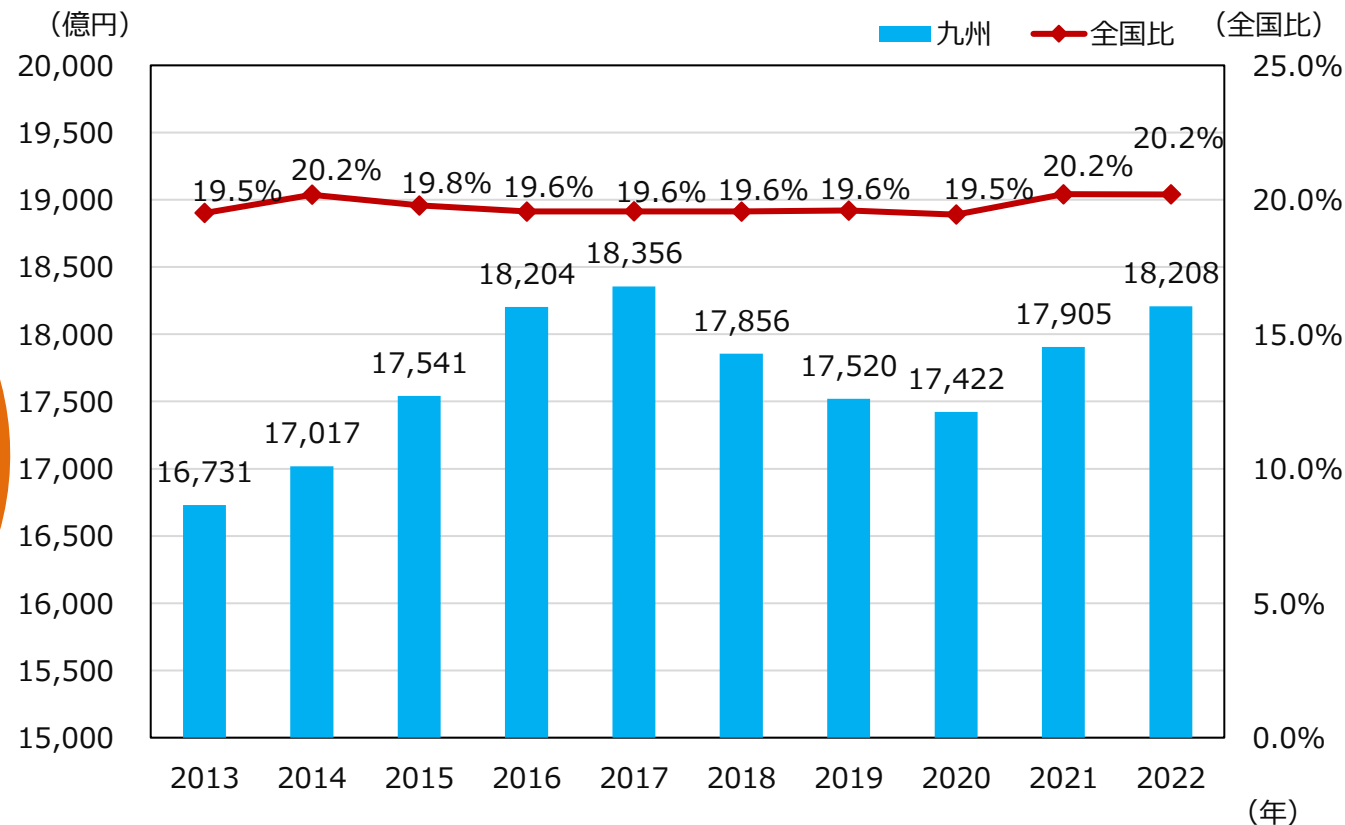
2022年の九州の農業産出額は約 2 兆円で、全国の約 2 割を占める。

推移をみると、前年比 + 1.7%と 2 年連続で前年を上回った。

図表 2 - 1 ブロック別農業産出額構成比



図表 2 - 2 九州の農業産出額・全国比の推移



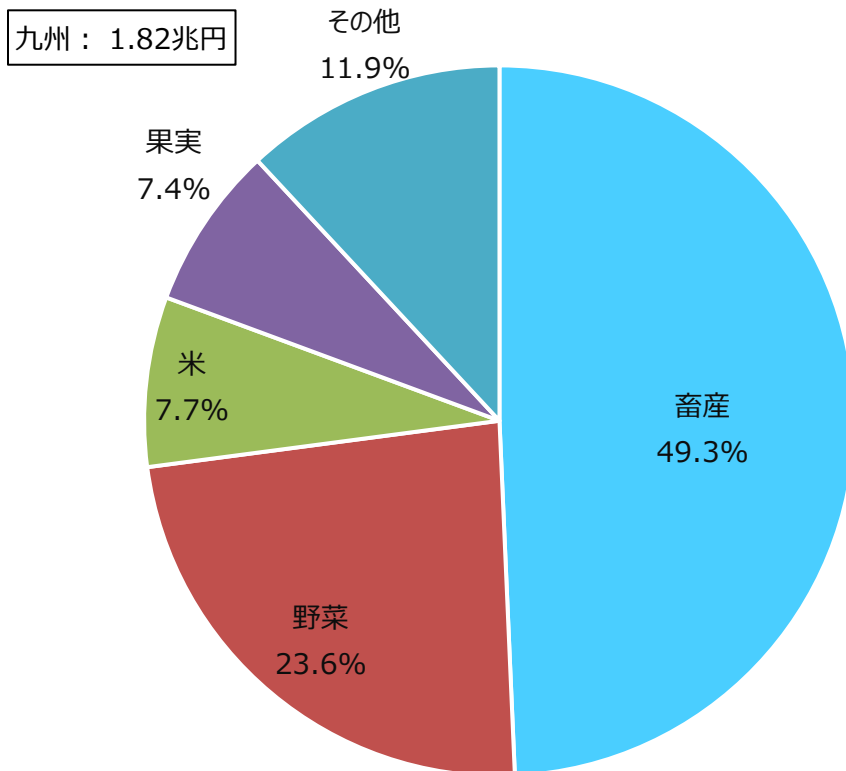
(出所) 農林水産省「令和4年生産農業所得統計」

2. 農業 一産出額の構成比、全国比一

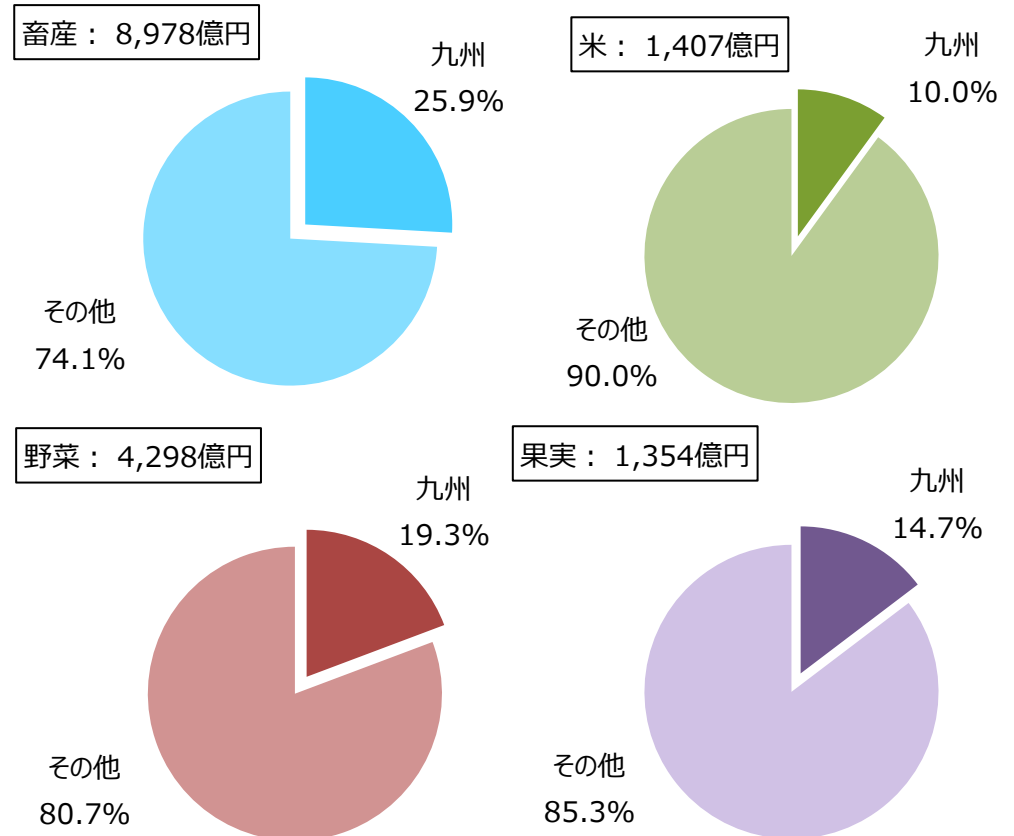
2022年の九州の農業産出額構成比は、畜産が全体の49.3%を占め、野菜(23.6%)、米(7.7%)と続く。

農畜産物別全国比をみると、畜産(25.9%)、野菜(19.3%)の割合が高い。

図表 2-3 九州の農業産出額構成比



図表 2-4 九州の農畜産物別全国比



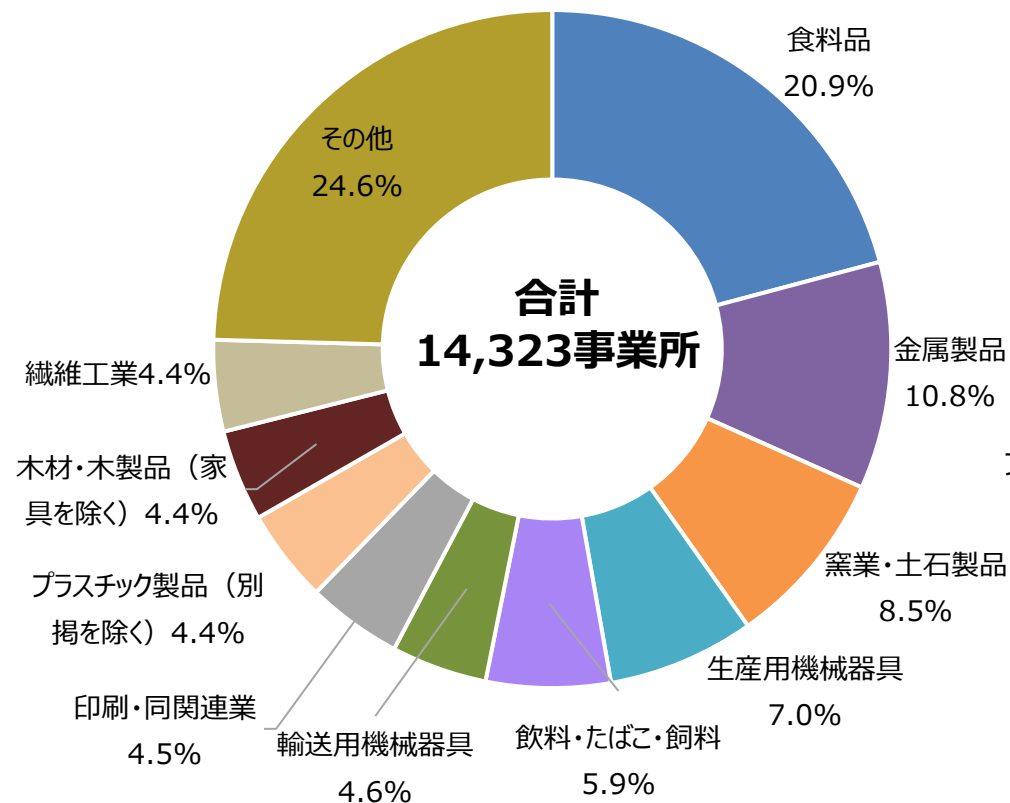
(出所) 農林水産省「令和4年生産農業所得統計」

3. 製造業－事業所数、従業者数－

2020年における九州の製造業の業種別事業所数をみると、食料品製造業が総事業所数の20.9%を占め、次いで金属製品製造業、窯業・土石製品製造業が続く。

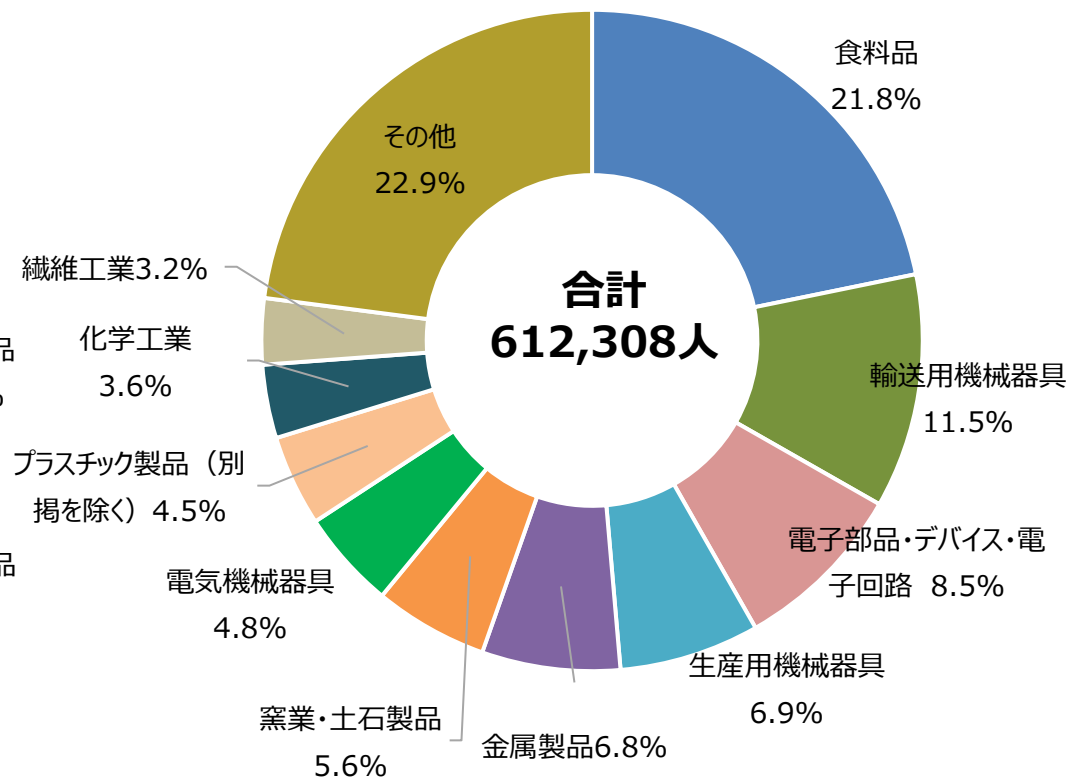
従業者数をみると、食料品製造業が全従業者数の21.8%、次いで輸送用機械器具製造業が11.5%、電子部品・デバイス・電子回路製造業が8.5%と続く。

図表 3-1 業種別事業所数(従業員4人以上)構成比



(出所) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

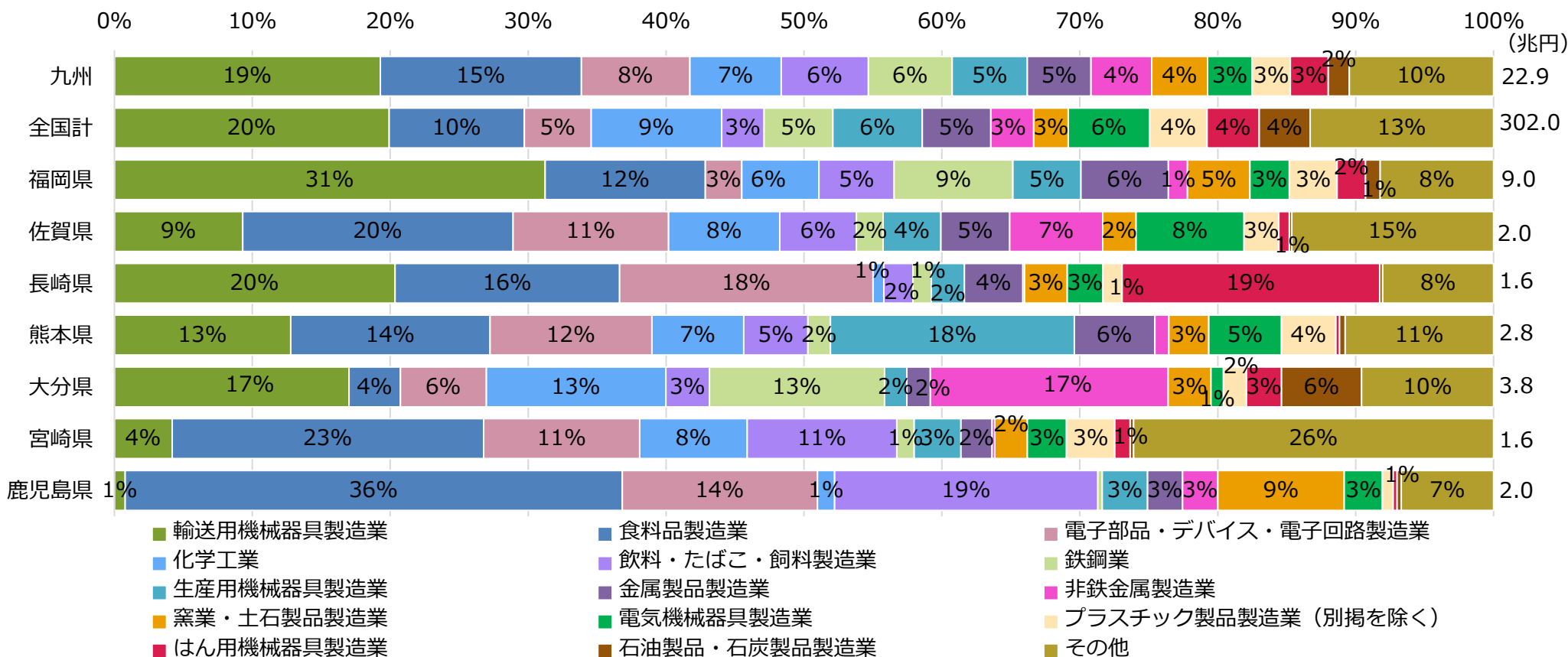
図表 3-2 業種別従業者数(従業員4人以上)構成比



3. 製造業 —製造品出荷額等—

2020年の九州の製造品出荷額等は22.9兆円で、業種別でみると、輸送用機械器具製造業が19%(4.4兆円)を占め、次いで食料品製造業が15%(3.3兆円)、電子部品・デバイス・電子回路製造業が8%(1.8兆円)と続く。県別でみると、福岡県では輸送用機械器具製造業、鹿児島県では食料品製造業の割合が高くなっている。

図表 3-3 業種別県別製造品出荷額等構成比(従業員4人以上)

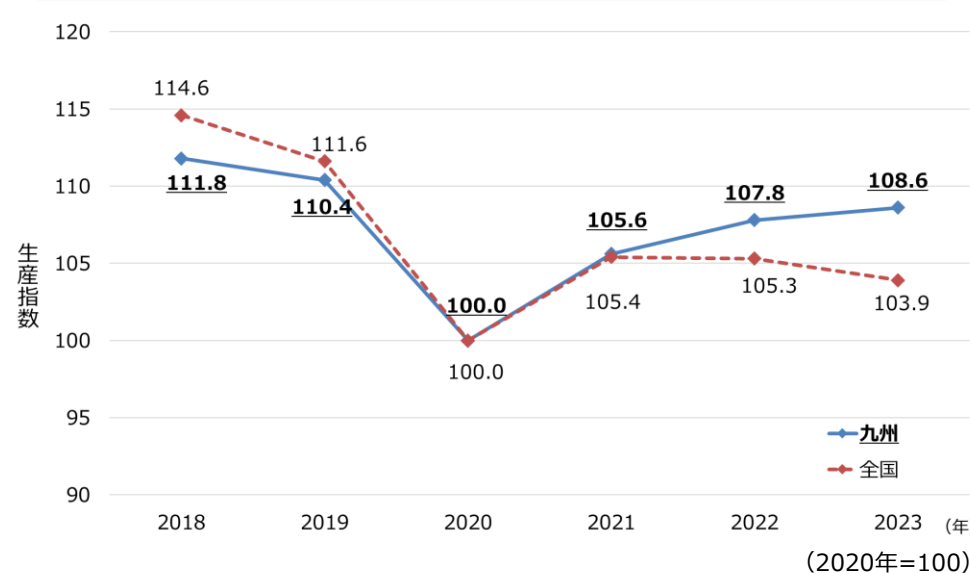


(出所) 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

3. 製造業 – 鉱工業生産指数–

2023年の鉱工業生産指数(確報)は108.6となり、前年比+0.7%と3年連続で上昇した。半導体を始めとした部品供給不足が解消したこと等により「輸送機械工業」が大きく上昇したことに加え「電子部品・デバイス工業」や「電気・情報通信機械工業」でも上昇した。

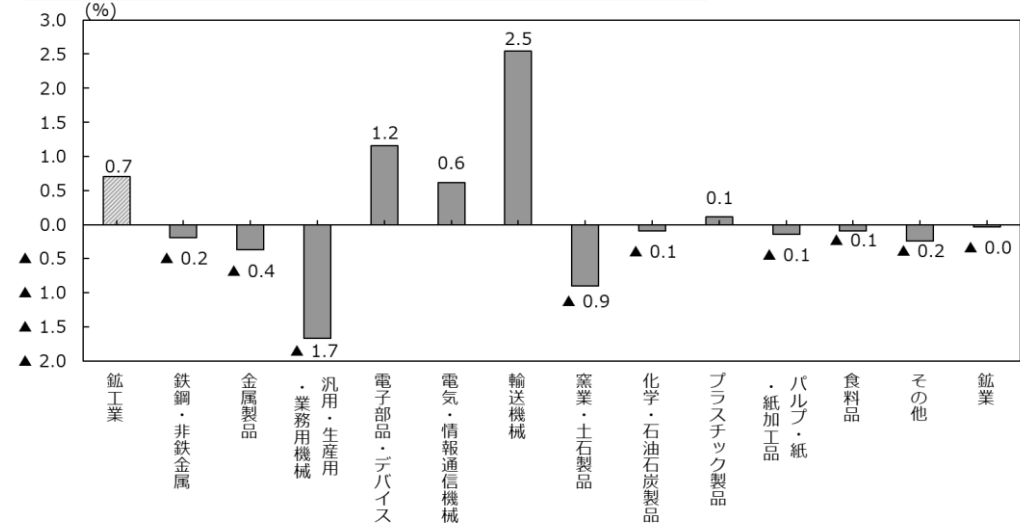
図表 3 - 4 九州と全国の鉱工業生産指数の推移



		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
九州	生産指数	111.8	110.4	100.0	105.6	107.8	108.6
	前年比 (%)		▲ 1.3	▲ 9.4	5.6	2.1	0.7
	出荷指数	113.6	111.5	100.0	103.6	103.8	108.1
	前年比 (%)		▲ 1.8	▲ 10.3	3.6	0.2	4.1
	在庫指数	99.6	102.2	94.2	95.3	101.1	100.9
	前年比 (%)		2.6	▲ 7.8	1.2	6.1	▲ 0.2
九州	在庫率指数	84.7	93.2	100.0	89.0	97.8	108.2
	前年比 (%)		10.0	7.3	▲ 11.0	9.9	10.6
全国	生産指数	114.6	111.6	100.0	105.4	105.3	103.9
	前年比 (%)		▲ 2.6	▲ 10.4	5.4	▲ 0.1	▲ 1.3

(注) 年の指数及び前年比は原指数。▲印は低下を示す。

図表 3 - 5 業種別寄与度 生産



図表 3 - 6 主な上昇・低下業種、主な上昇・低下品目 生産

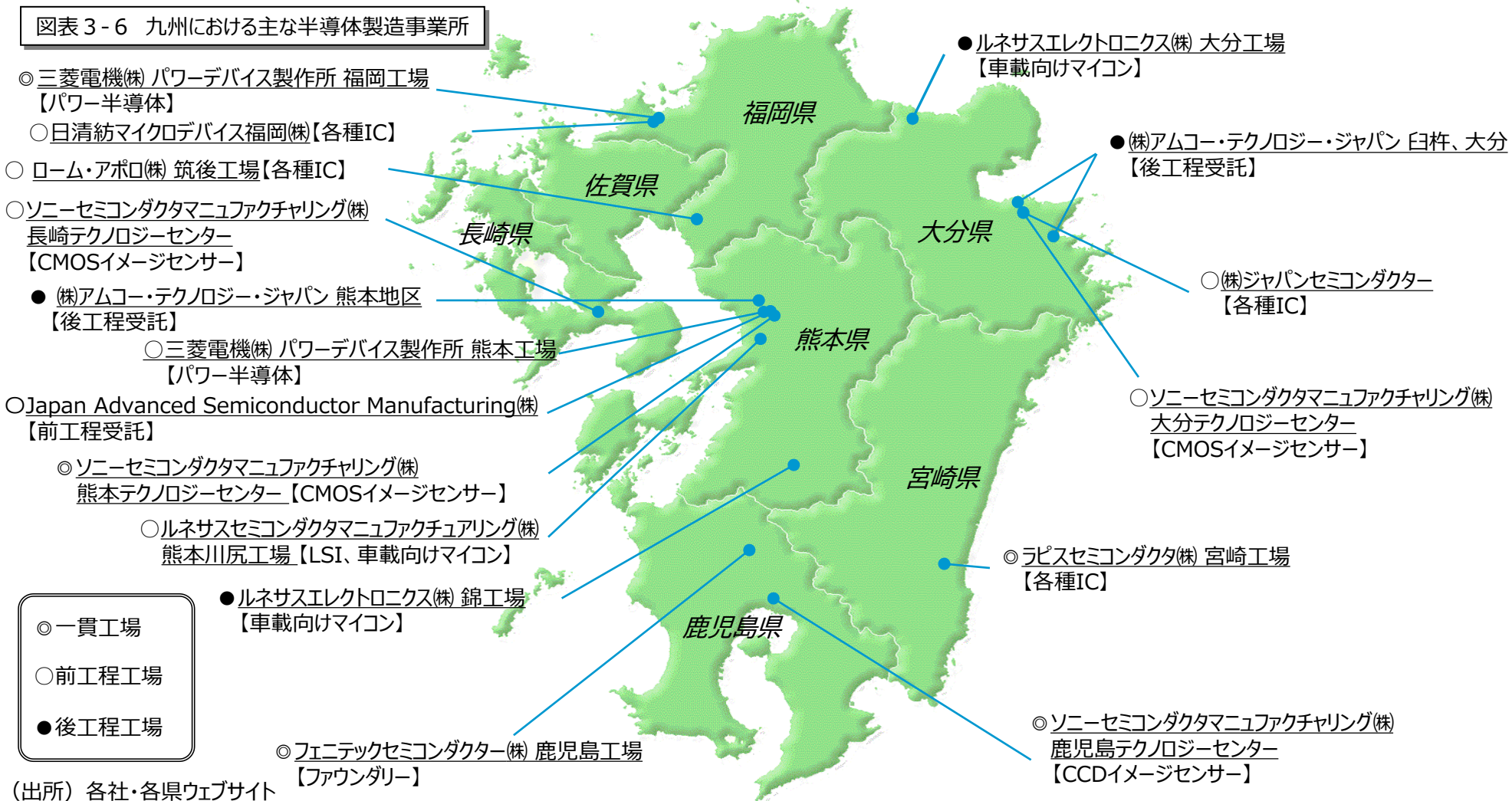
【生産】・・全13業種中、上昇4業種、低下9業種、横ばい0業種

	主な上昇・低下業種	前年比	主な上昇・低下品目
上昇	輸送機械工業	25.4	普通乗用車、軽・小型乗用車 等
	電子部品・デバイス工業	7.6	モス型IC（除、マイコン・ロジック・メモリ）、モス型IC（ロジック） 等
	電気・情報通信機械工業	9.3	配線・照明用器具、電気計測器 等
低下	汎用・生産用・業務用機械工業	▲ 9.8	半導体製造装置、金型 等
	窯業・土石製品工業	▲ 18.5	ファインセラミックス（機能材）、ファインセラミックス（一般構造材） 等
	金属製品工業	▲ 7.5	鉄骨・軽量鉄骨、アルミニウム製建具 等

3. 製造業 – 半導体関連産業（半導体製造事業所の立地状況） –

九州地域には、CMOSイメージセンサー、車載用マイコン等で世界トップシェアを誇る大手企業や、そうした企業を支える多数の中小企業が集積。九州経済の成長を牽引し続けており、近年の産業界の幅広いニーズに応えるべく「新生・シリコンアイランド九州」の実現に向けた動きが加速。

図表 3-6 九州における主な半導体製造事業所



【トピックス】「新生・シリコンアイランド九州」への歩み

「半導体・デジタル産業戦略（経済産業省）」において、九州は“産業用先端半導体の生産拠点”として位置付け。2021年4月以降、89件・4兆7,200億円の半導体関連の新規設備投資・立地計画が公表済。イメージセンサー、パワーデバイス、ロジック半導体など産業用途の先端・高付加価値品や材料、製造装置が多数を占めている。

2022年

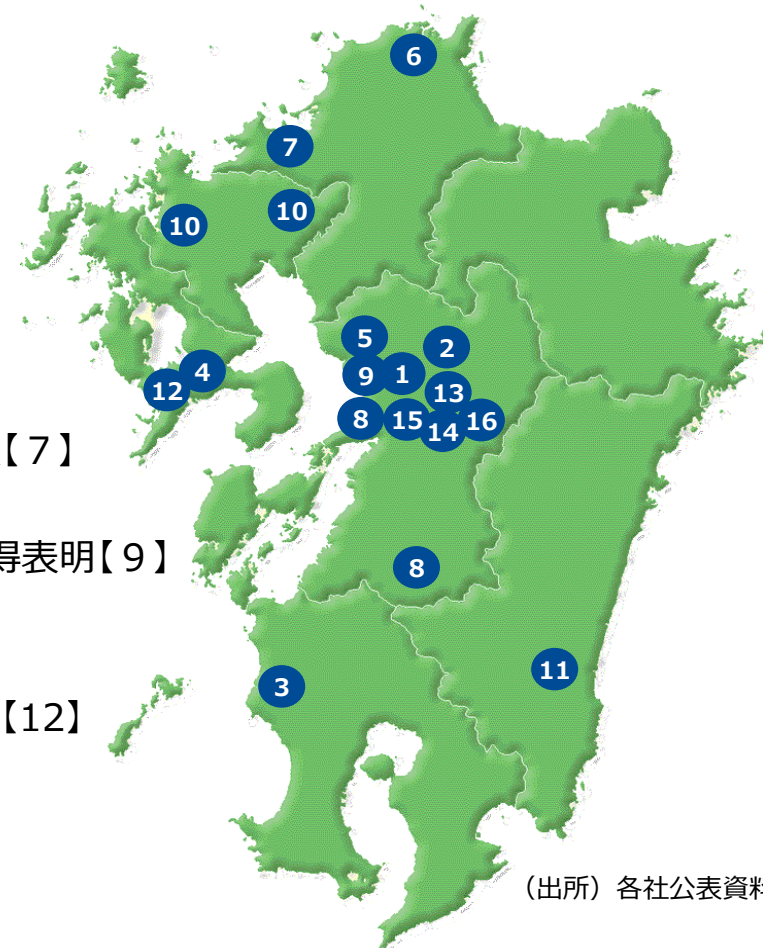
- 3月 東京エレクトロン九州（製造装置）開発棟新設 発表【1】
東京応化工業（半導体材料） 新工場立地協定【2】
- 4月 京セラ（半導体材料） 新工場棟建設 公表【3】
- 12月 京セラ（半導体材料） 新工場立地協定【4】

2023年

- 2月 荏原製作所（製造装置） 新工場棟建設 公表【5】
メキシケムジャパン・双日（半導体材料） 新工場立地協定【6】
- 3月 三菱電機パワーデバイス製作所（パワー半導体） 新工場棟建設 公表【7】
- 4月 ルネサスエレクトロニクス（マイコン） 能力増強への支援決定【8】 ※1
- 5月 ソニーセミコンダクタソリューションズ（イメージセンサー） 新工場用地 取得表明【9】
- 7月 SUMCO（シリコンウエハ） 新工場棟・新工場への支援決定【10】 ※1
- 12月 ローム（SiCパワー半導体） 新工場への支援決定【11】 ※1
ソニーセミコンダクタマニファクチャリング（イメージセンサー） Fab 3 竣工式【12】

2024年

- 1月 富士フイルムマテリアルマニファクチャリング（半導体材料） 生産開始【13】
- 2月 JASM（ファウンドリ/ロジック） 第1工場 竣工式【14】 ※2
- 3月 日本エア・リキード（ガス） 熊本事業所 竣工式【15】
- 4月 JASM（ファウンドリ/ロジック） 熊本県菊陽町での第2工場建設を公表【16】 ※2



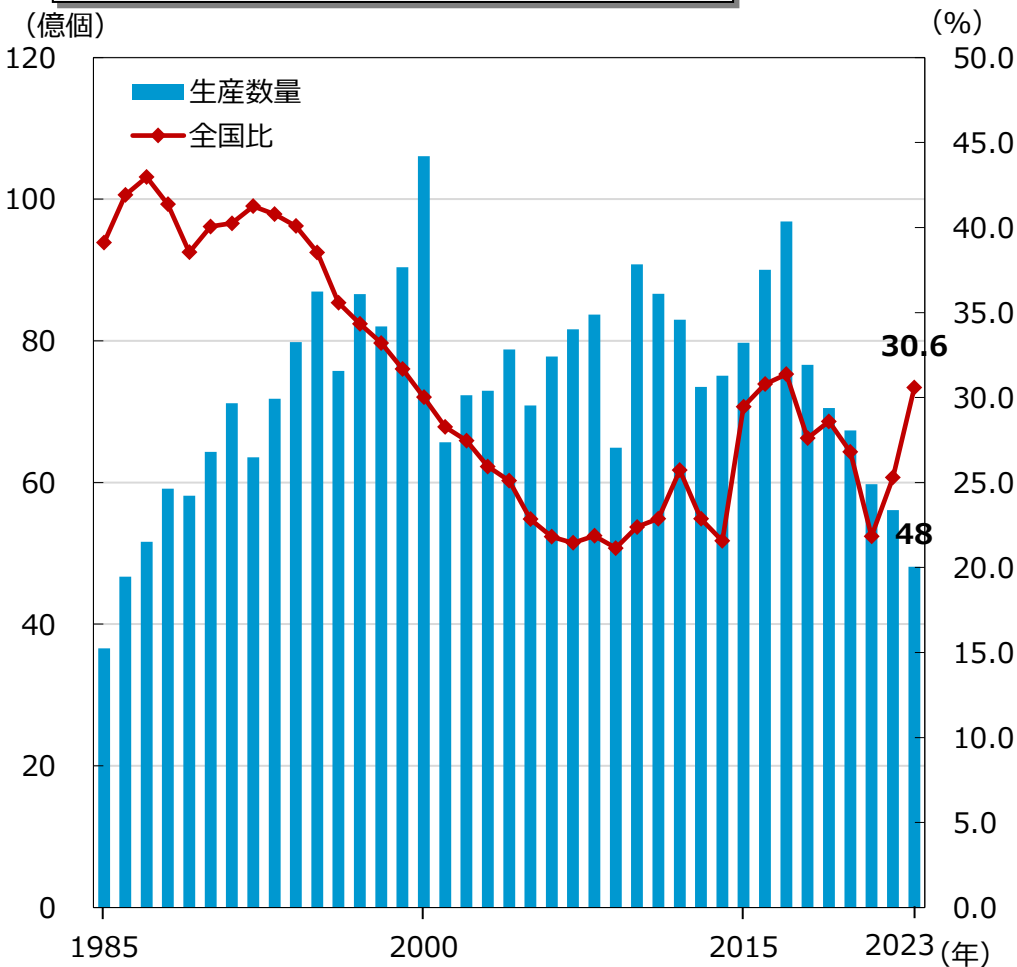
（出所）各社公表資料

※1 経済安全保障推進法による支援対象（経済安保基金）
※2 5G促進法による支援対象（先端半導体基金）

3. 製造業 – 半導体関連産業（集積回路（IC）生産数量、金額） –

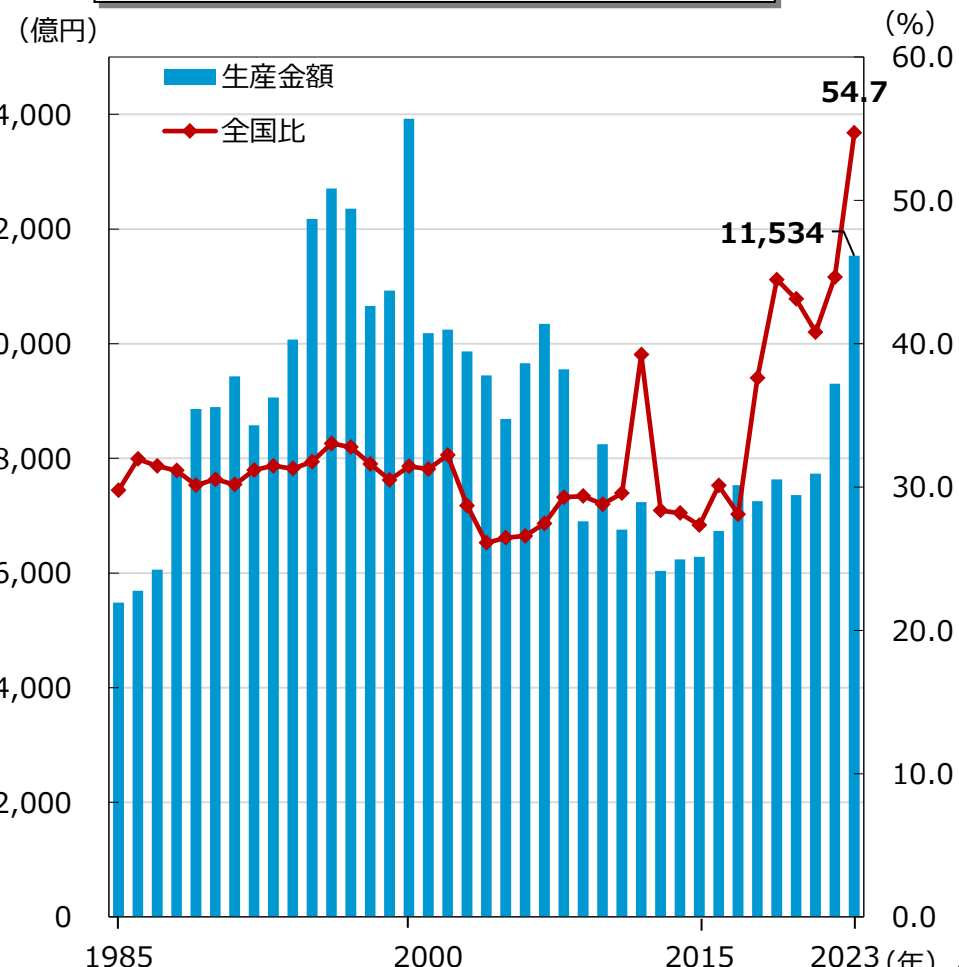
2023年のIC生産実績は、高付加価値品などを中心に、高水準での生産が続いた結果、生産数量では6年連続で前年を下回ったものの、生産金額では3年連続で増加。生産金額は、2007年以来、16年ぶりに1兆円以上となり、全国比は1985年以降、初めて50%を上回った。

図表 3-7 九州のIC生産数量・全国比の推移



(出所) 経済産業省「生産動態統計調査」

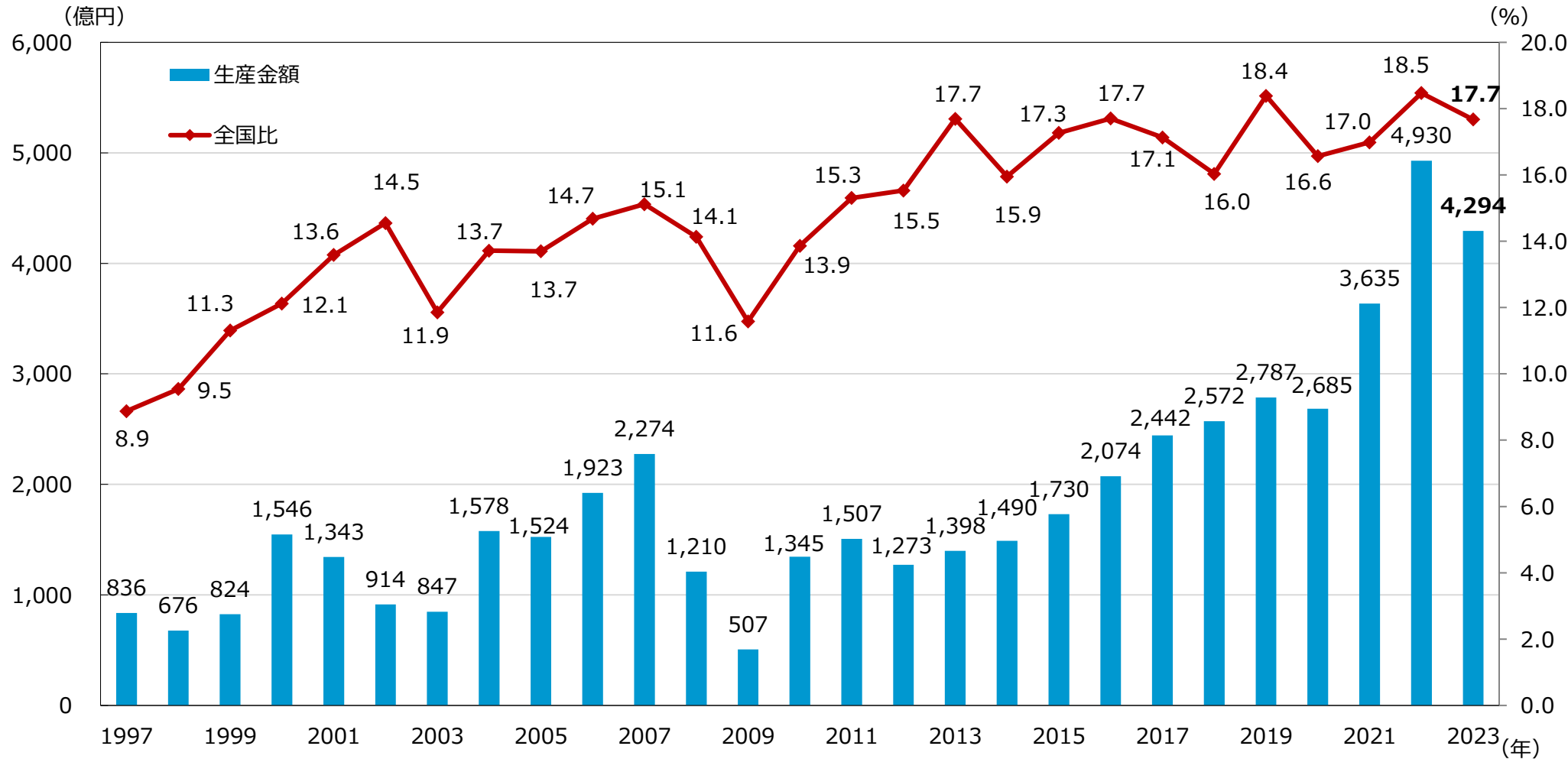
図表 3-8 九州のIC生産金額・全国比の推移



3. 製造業 – 半導体関連産業（半導体製造装置生産金額） –

2023年の半導体製造装置の生産金額は、3年ぶりに減少したものの、国内外からの堅調な需要に支えられ、高水準の生産となった。

図表 3-9 九州の半導体製造装置生産金額・全国比の推移



(出所) 経済産業省「生産動態統計調査」

3. 製造業－自動車関連産業（自動車関連事業所の立地状況）－

九州には、北部に完成車メーカー4社が立地し、**約154万台/年の生産能力**を持つ、世界有数の生産拠点到に成長。また、自動車部品の製造・加工等を担う関連企業も多く集積。

図表3-10 九州における主な自動車関連事業所

【トヨタ自動車九州】



LEXUS RX



エンジン

【ダイハツ九州】



ムーヴキャンバス



ハイゼットトラック



【日産自動車九州】



セレナ



エクストレイル

【日産車体九州】



キャラバン



エルグランド

	日産自動車九州(株)	日産車体九州(株)	トヨタ自動車九州(株)			ダイハツ九州(株)	
			宮田工場	苅田工場	小倉工場	中津工場	久留米工場
生産開始	1976年12月 (車両生産)	2009年12月	1992年12月	2005年12月	2008年8月	2004年11月	2008年8月
生産能力	53万台	12万台	43万台	44万基	47万基	46万台	32.4万基
生産車種 (品目)	セレナ エクストレイル ローグ ローグスポーツ	インフィニティQX80 パトロール アルマーダ エルグランド NV350キャラバン	レクサス ES レクサス UX レクサス RX レクサス NX	エンジン	ハイブリッド部品	タフト ムーヴキャンバス ミライース アトレー ハイゼットトラック ハイゼットカーゴ	エンジン トランスミッション部品

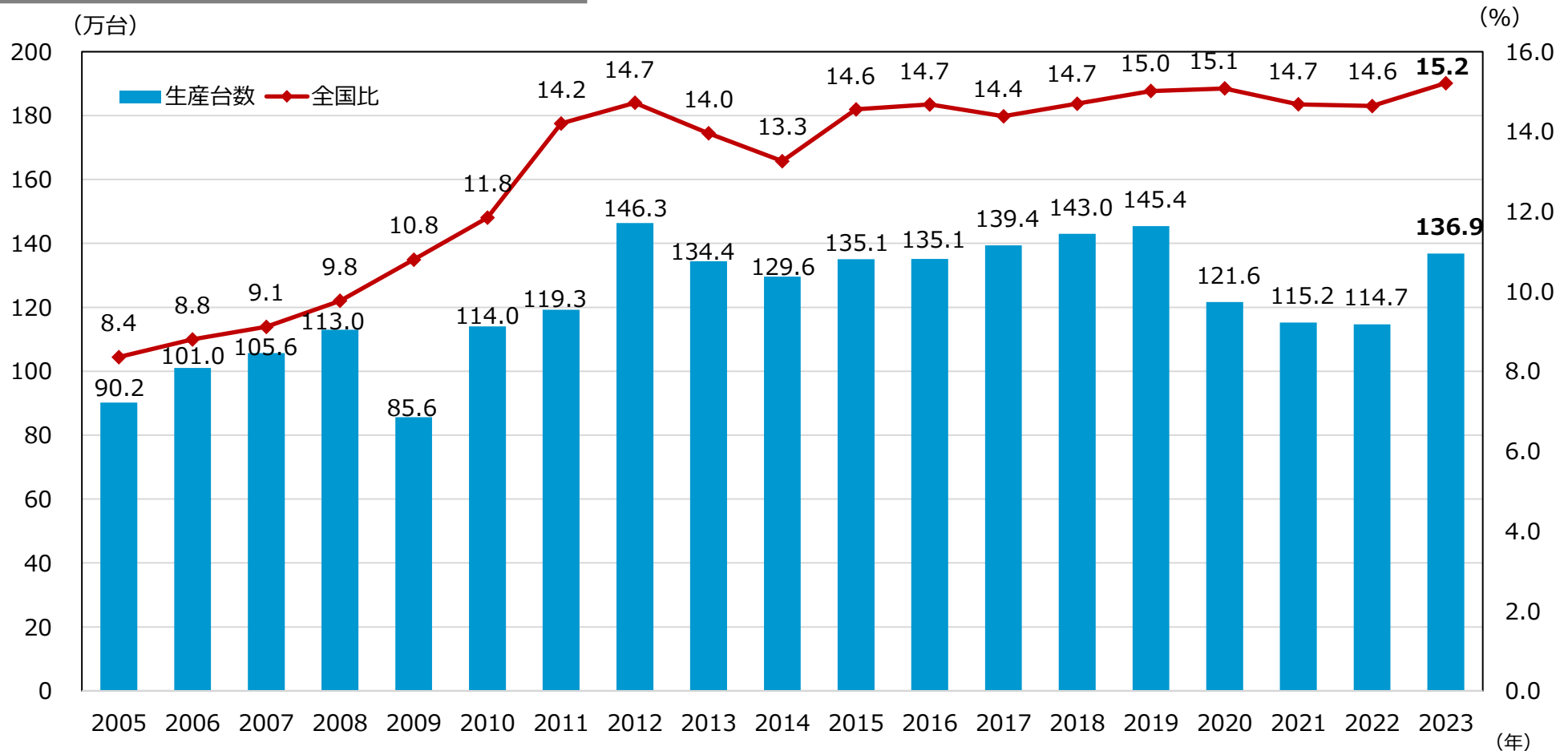
(写真) 各社ウェブサイト

(出所) 「北部九州自動車産業グリーン先進拠点プロジェクト」パンフレット等

3. 製造業 – 自動車関連産業（四輪自動車生産台数） –

2023年の四輪自動車生産台数は、136.9万台(前年比+19.3%)と、4年ぶりに増加。年間を通じて、国内外からの好調な需要が続き、半導体不足の解消に伴って生産が回復したことで、2019年以来の高い水準での生産となった。

図表 3-11 九州の四輪自動車生産台数・全国比の推移

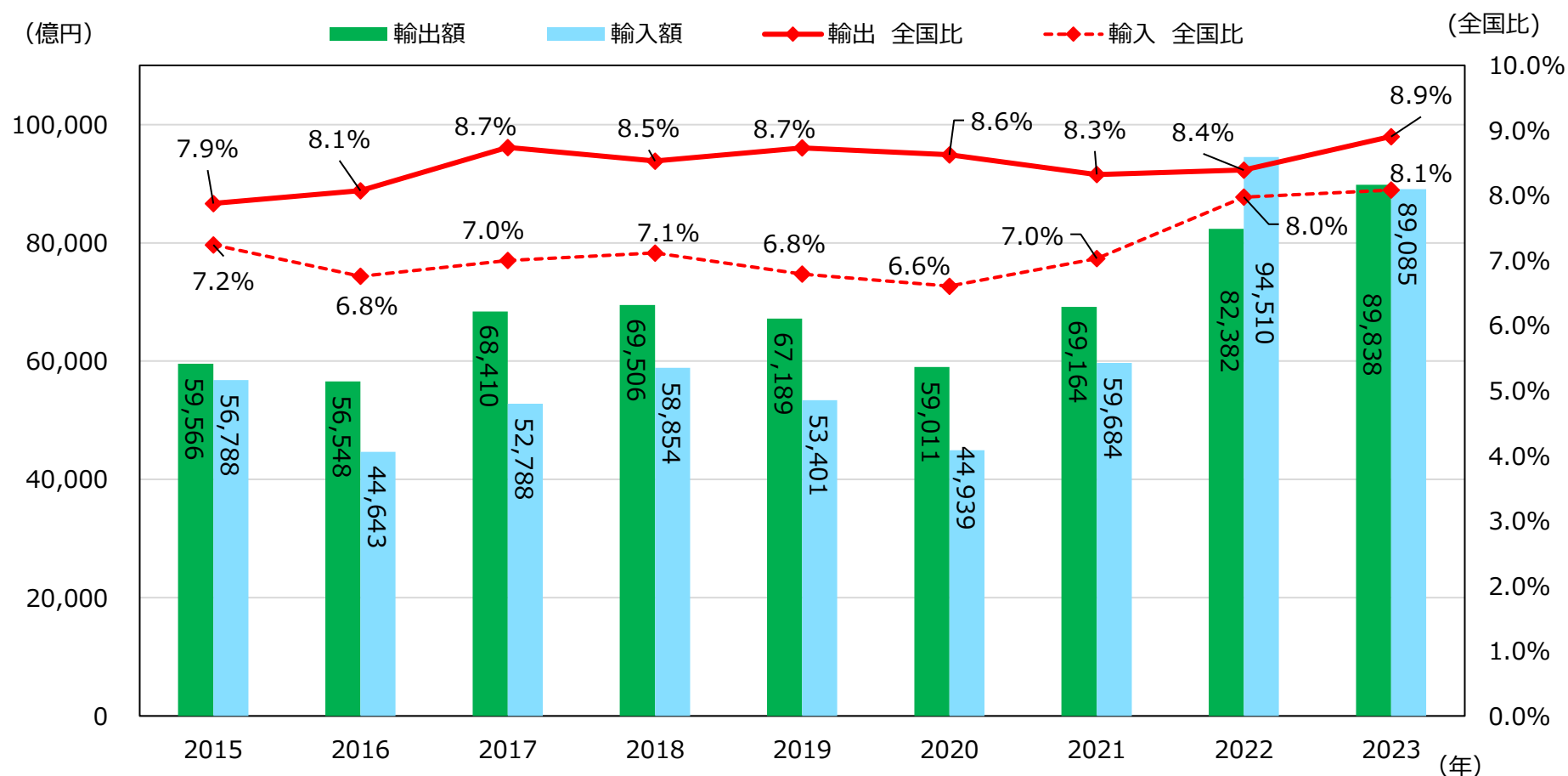


(出所) 経済産業省「生産動態統計調査」

4. 貿易－輸出入額の推移－

2023年の九州の輸出額は8兆9,838億円(全国比8.9%)、輸入額は8兆9,085億円(全国比8.1%)と、輸出額は3年連続で前年を上回り、2年ぶりに輸出超過となった。

図表4-1 輸出入額、全国比の推移

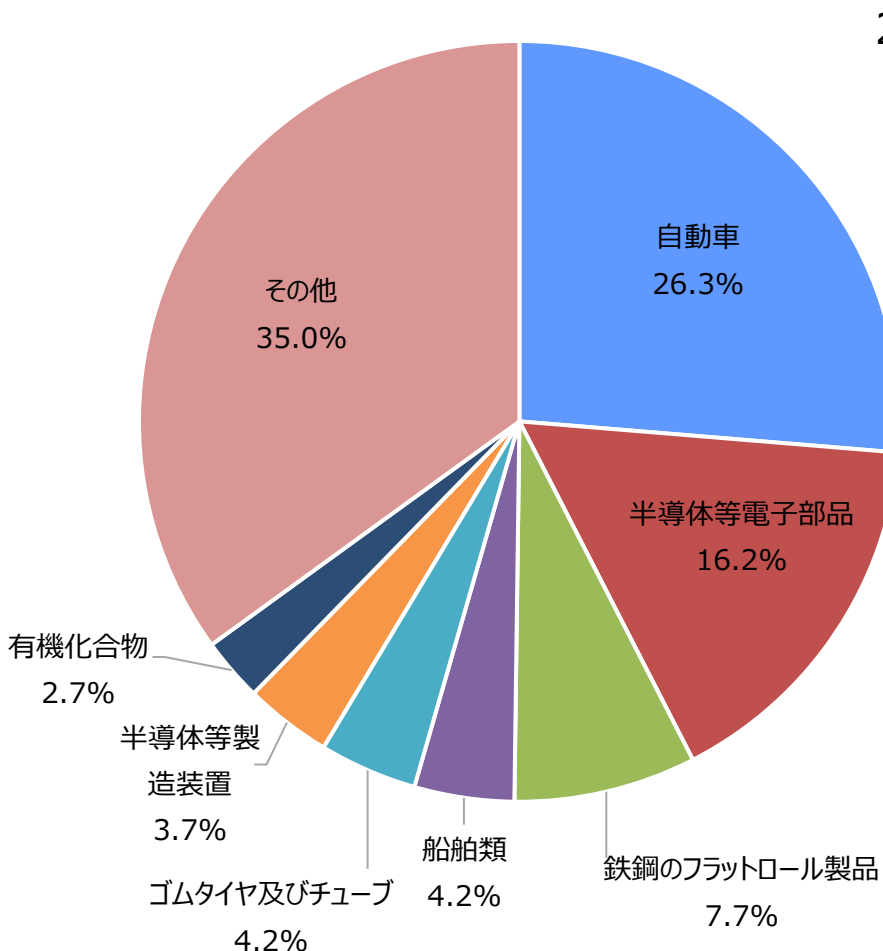


(出所) 財務省「貿易統計」

4. 貿易 ―輸出品目、輸出先―

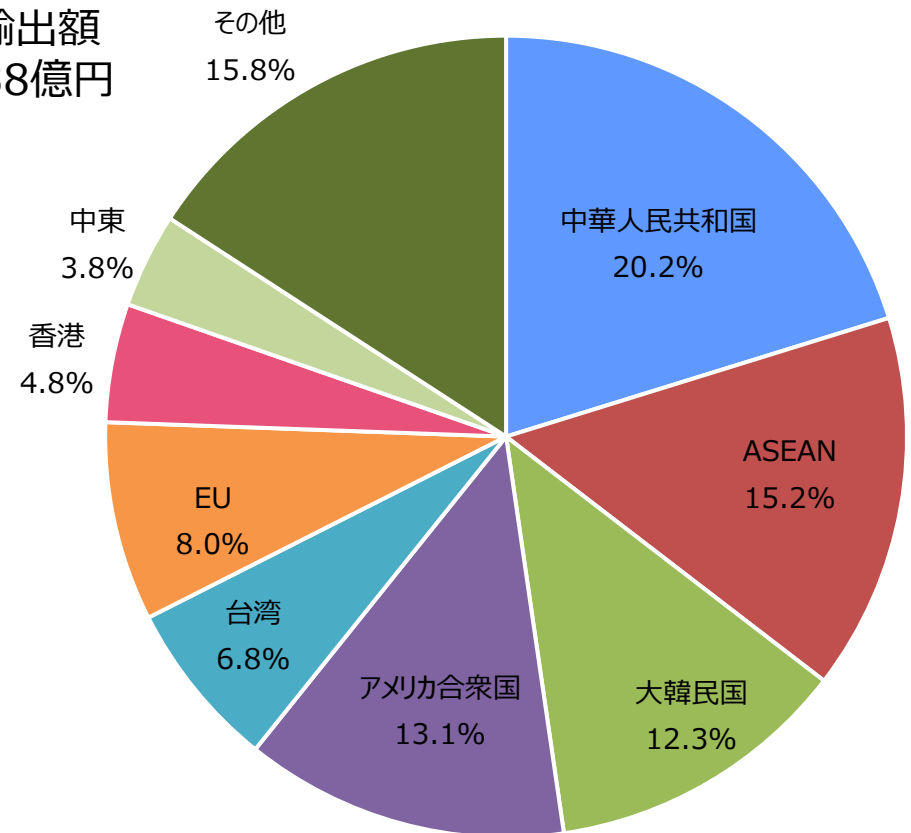
輸出品目は、自動車が26.3%と最も多く、次いで半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品と続く。国・地域別では、中国の割合が20.2%と最も多く、次いでASEAN、韓国と続く。

図表 4 - 2 輸出品目(2023年)



(出所) 財務省「貿易統計」

図表 4 - 3 輸出先(2023年)

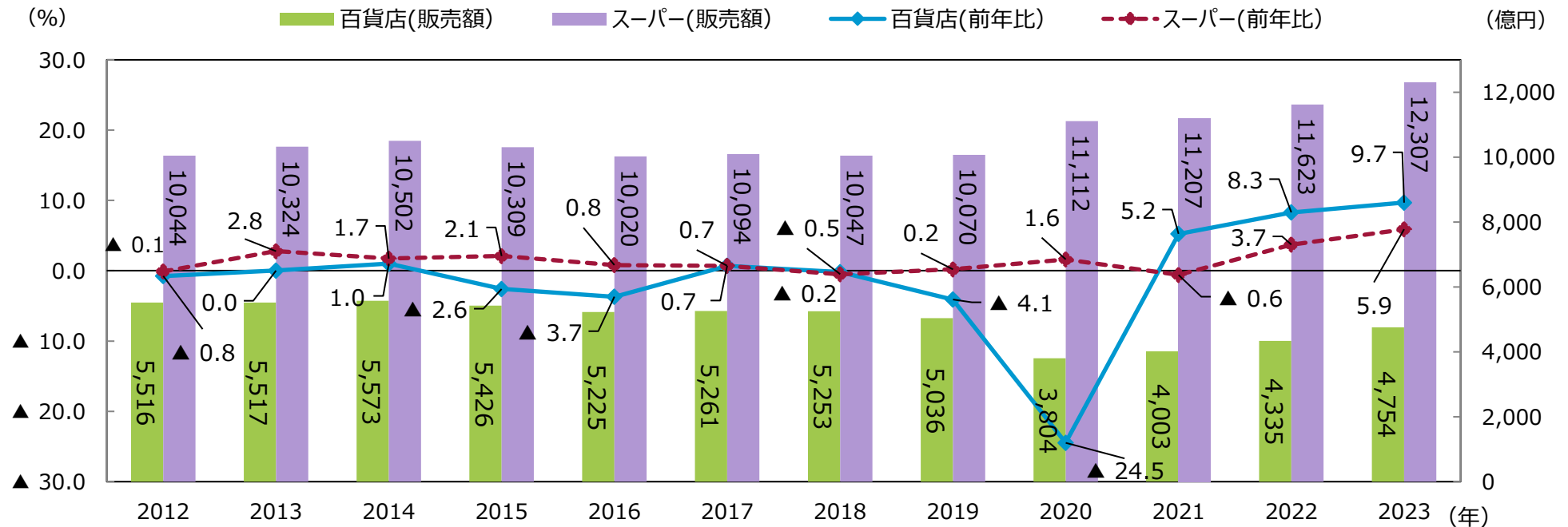


5. 消費 – 百貨店・スーパー販売額の推移 –

2023年の九州・沖縄地域の百貨店・スーパー販売額の前年比(全店)は+6.9%(1兆7,061億円、全国比7.9%)と3年連続で前年を上回った。

2023年の業態別前年比(全店)は、百貨店が前年比+9.7%(4,754億円、全国比8.0%)と3年連続の増加、スーパーが前年比+5.9%(1兆2,307億円、全国比7.9%)と2年連続の増加となった。

図表5-1 百貨店・スーパー業態別販売額の年別推移(九州・沖縄 全店)



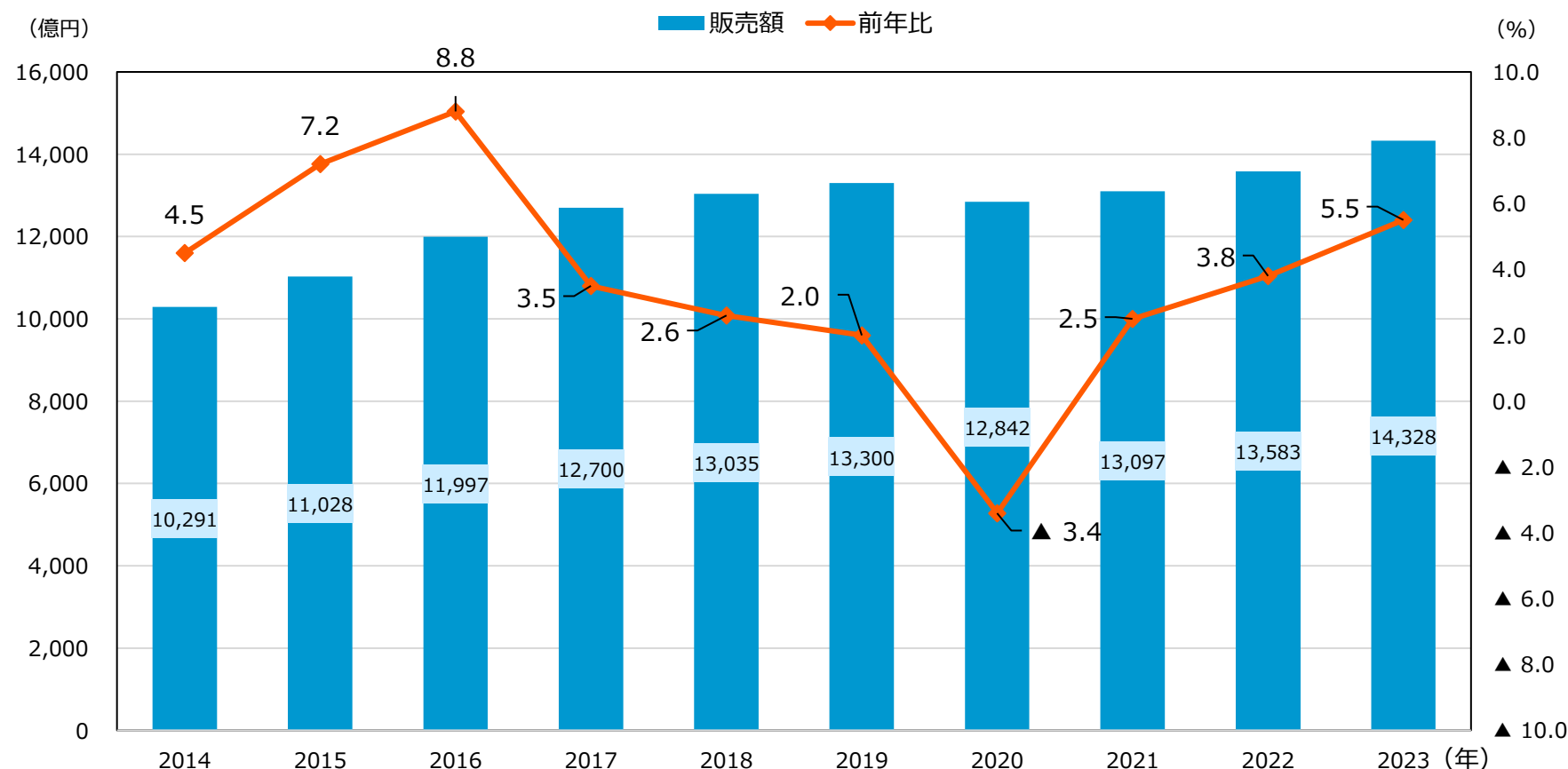
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 前年比はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算。

5. 消費 – コンビニエンスストア販売額 –

2023年の九州・沖縄のコンビニエンスストア販売額の前年比(全店)は+5.5%(1兆4,328億円、全国比11.3%)と3年連続で前年を上回った。

図表5-2 コンビニエンスストア販売額の年別推移(九州・沖縄 全店)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 前年比はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算。

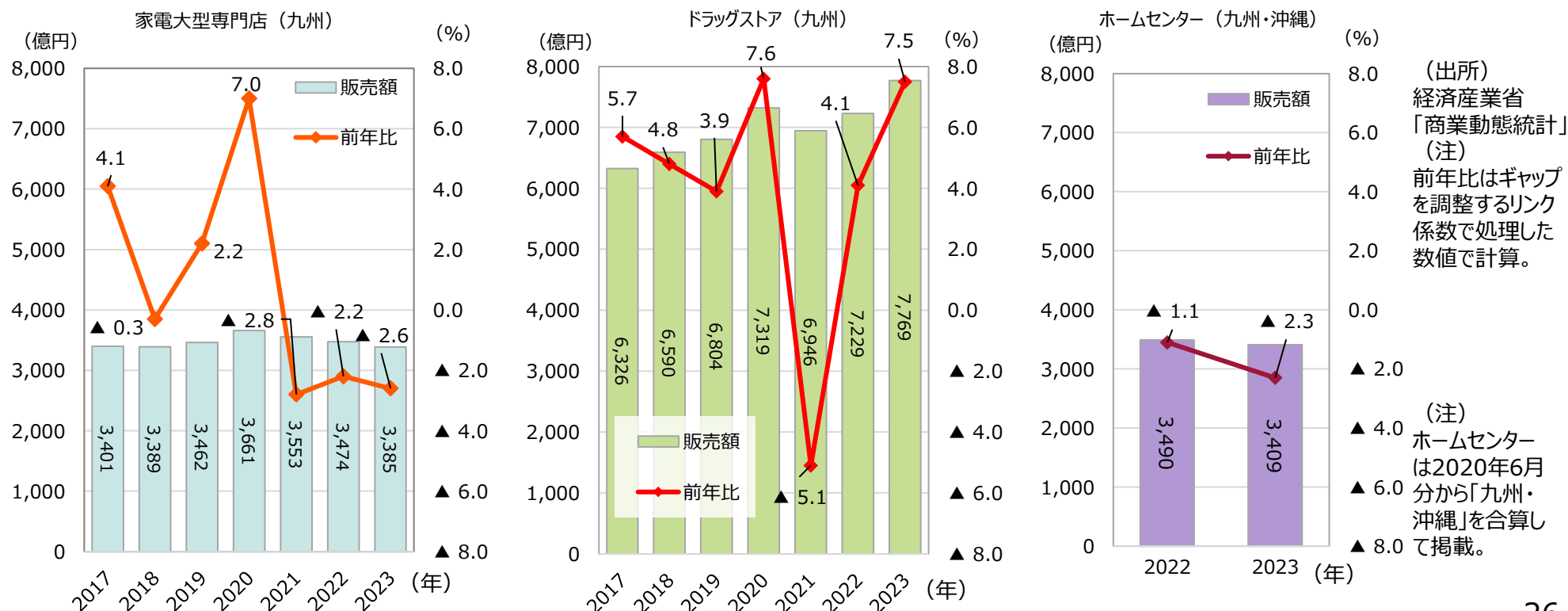
5. 消費 – 家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター

2023年の九州地域の家電大型専門店販売額の前年比(全店)は▲2.6%(3,385億円、全国比7.3%)と3年連続で前年を下回った。

九州地域のドラッグストア販売額の前年比(全店)は+7.5%(7,769億円、全国比9.3%)と2年連続で前年を上回った。

九州・沖縄地域ホームセンター販売額の前年比(全店)は▲2.3%(3,409億円、全国比10.2%)と2年連続で前年を下回った。

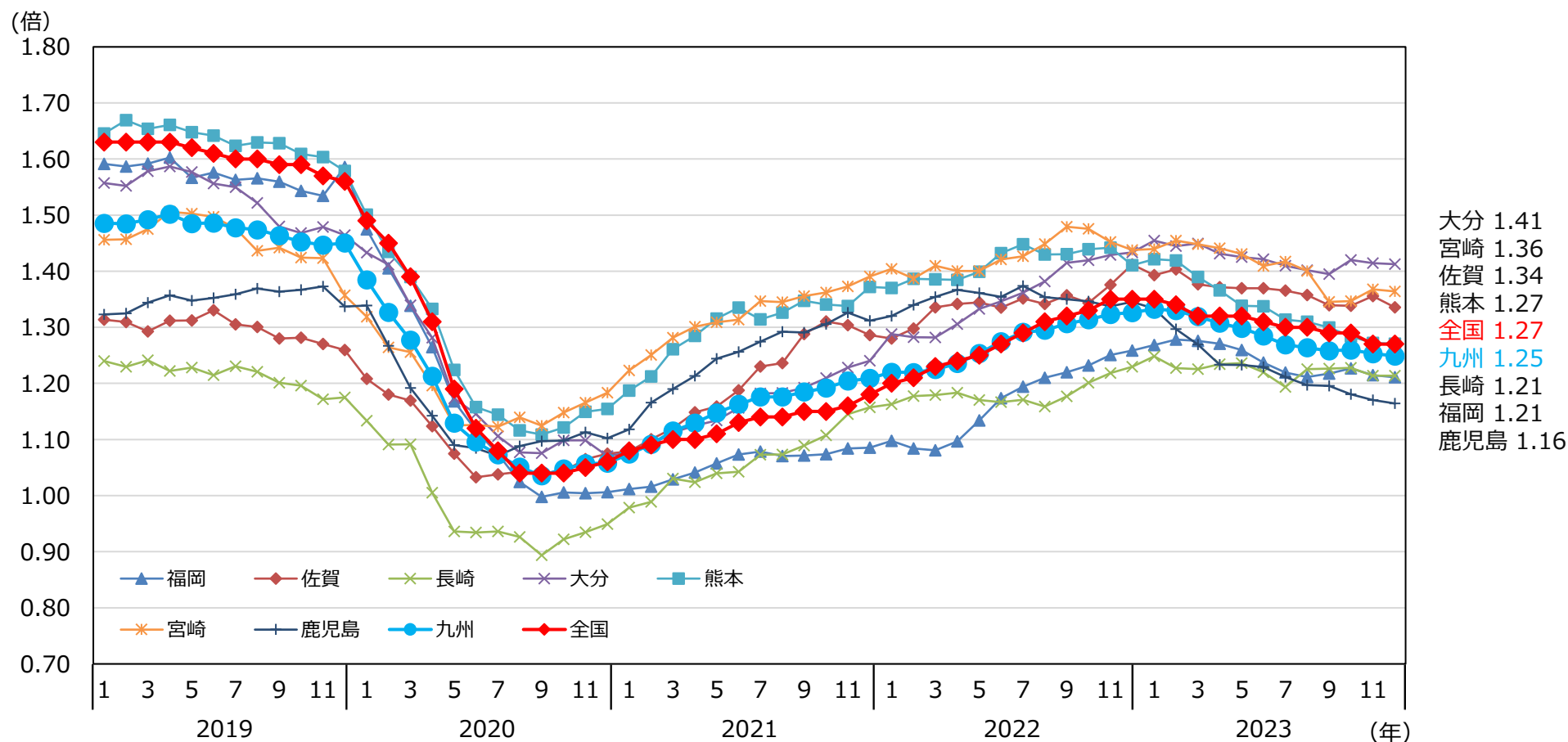
図表5-3 専門量販店業態別販売額の年別推移



6. 雇用 ―有効求人倍率―

2020年2月頃から新型コロナウイルス感染症の影響が現れ始めたことにより総じて低下傾向にあった九州地域の有効求人倍率は、2020年9月を底に改善傾向が続いたのち、横ばい傾向にある。

図表6 有効求人倍率の推移



(出所) 厚生労働省、各労働局

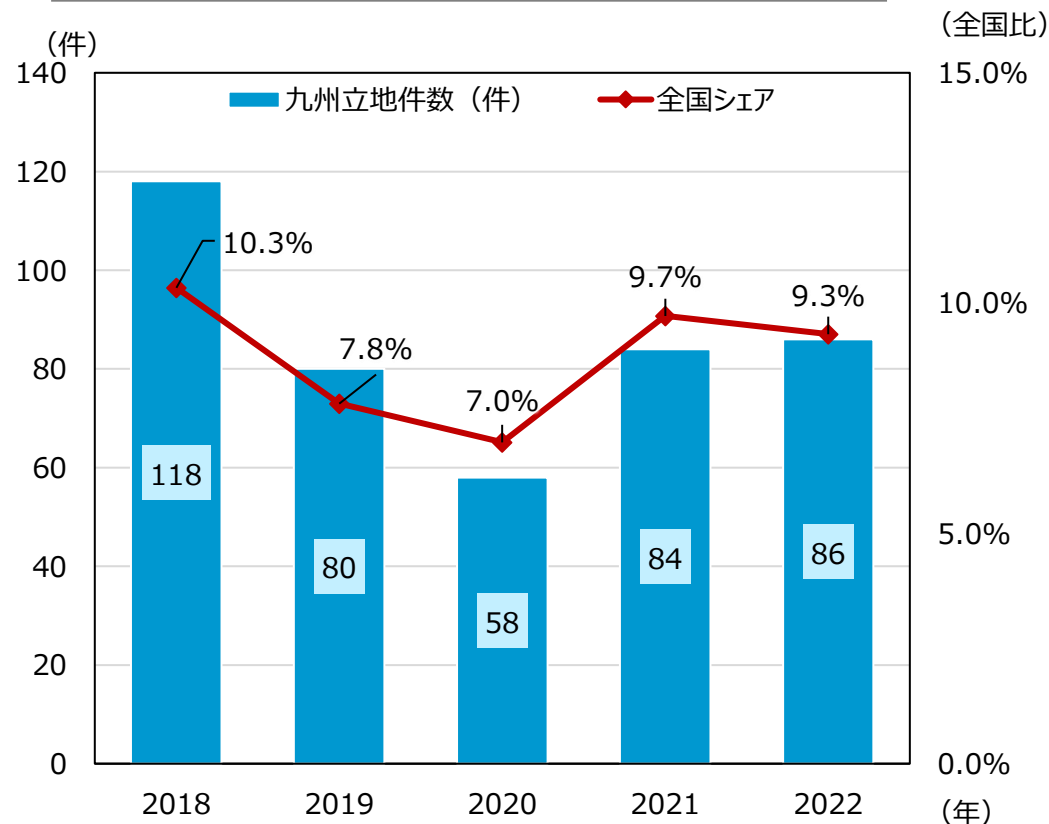
(注) 右数字は、2023年12月の有効求人倍率

7. 設備投資－工場立地件数と立地面積－

2022年の九州の工場立地件数は86件(前年比+2.4%)となり、2年連続増加し、全国に対する割合は9.3%となった。

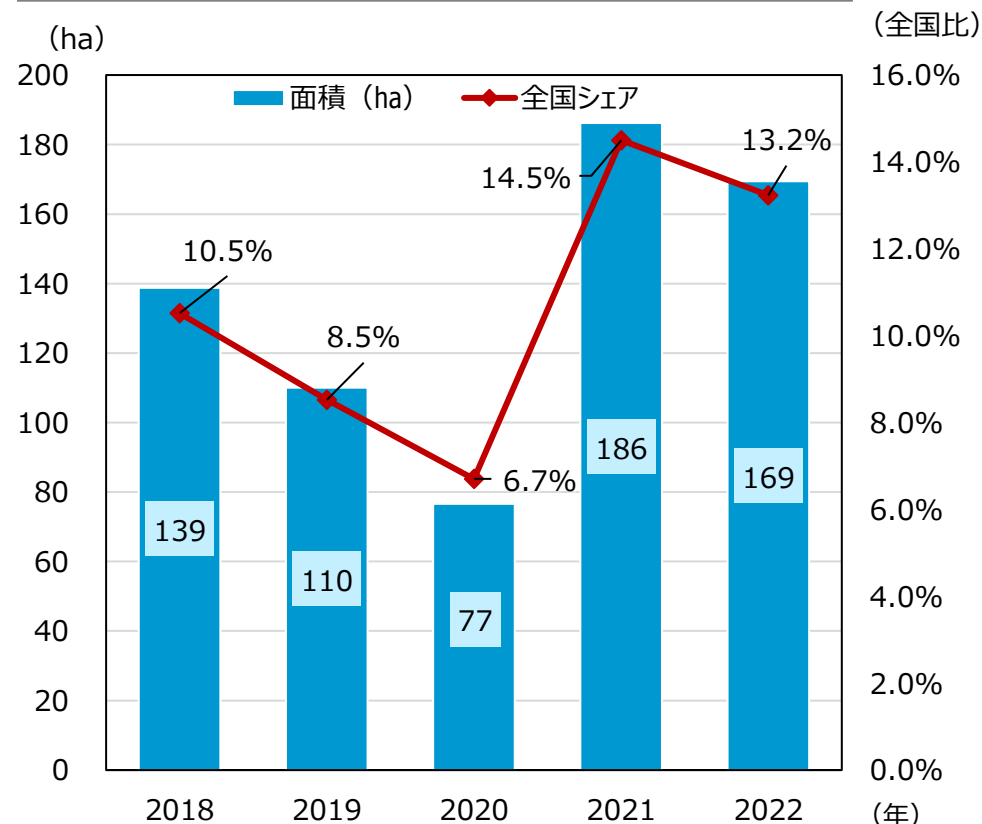
立地面積は169ha(前年比▲9.1%)となり、2年ぶりに減少し、全国に対する割合は13.2%となった。

図表 7-1 九州の工場立地件数の推移



(出所) 経済産業省「工場立地動向調査」

図表 7-2 九州の工場立地面積の推移

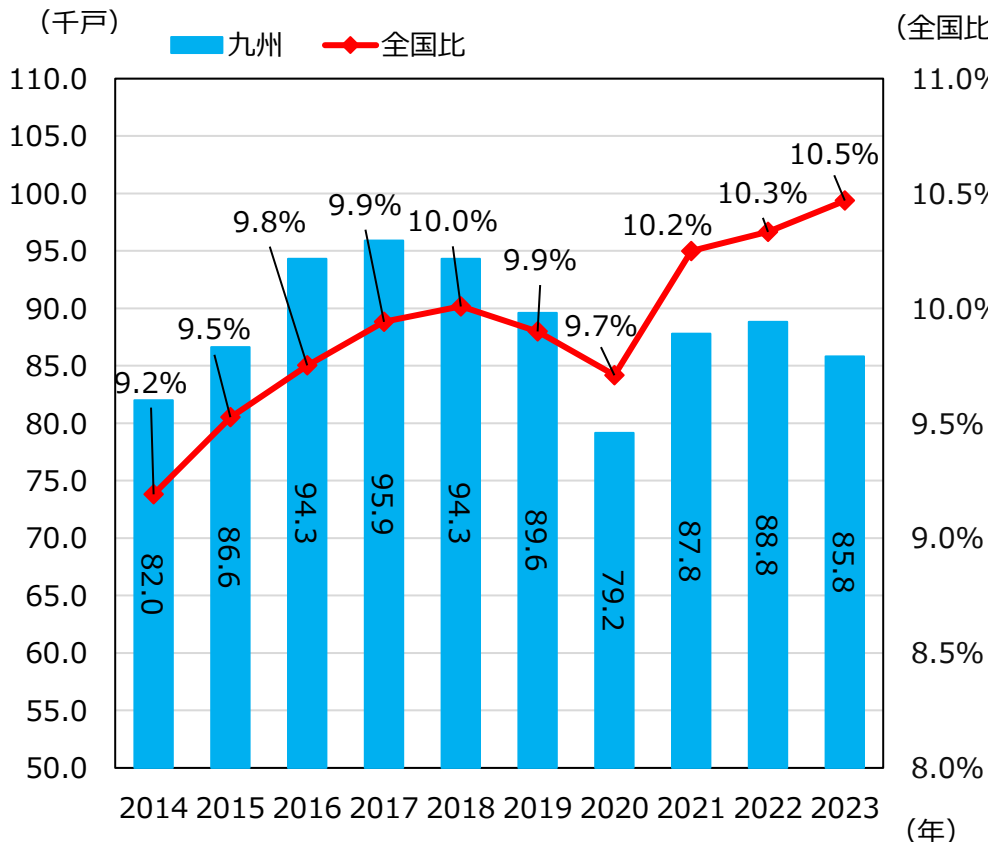


8. 住宅－新設住宅戸数、床面積－

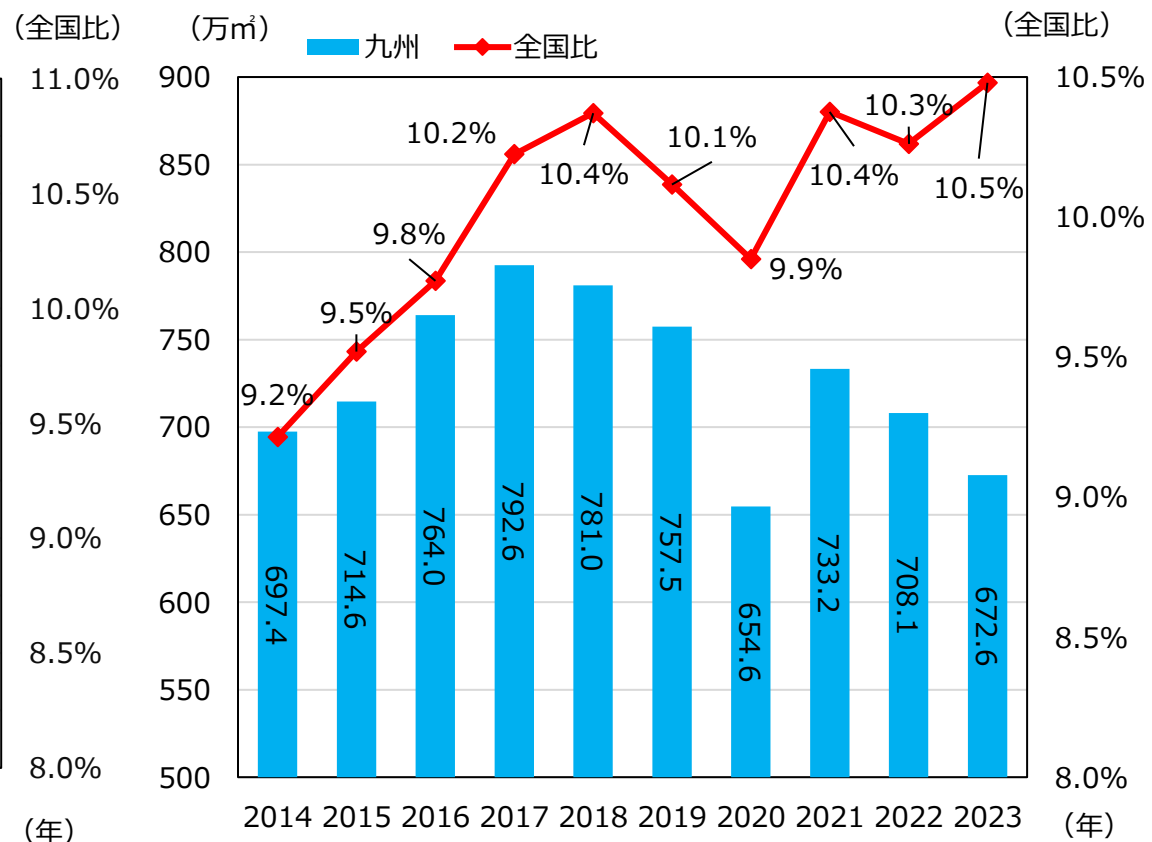
2023年の九州の新設住宅戸数は、8万5,802戸(前年比▲3.4%)となり、3年ぶりに前年を下回った。また、全国では約82万戸となり、九州のシェアは10.5%となった。

2023年の九州の新設住宅床面積は、約673万㎡(前年比▲5.0%)となり、2年連続で前年を下回った。全国の同面積は約6,418万㎡となり、九州のシェアは10.5%となった。

図表 8 - 1 九州の新設住宅戸数・全国比の推移



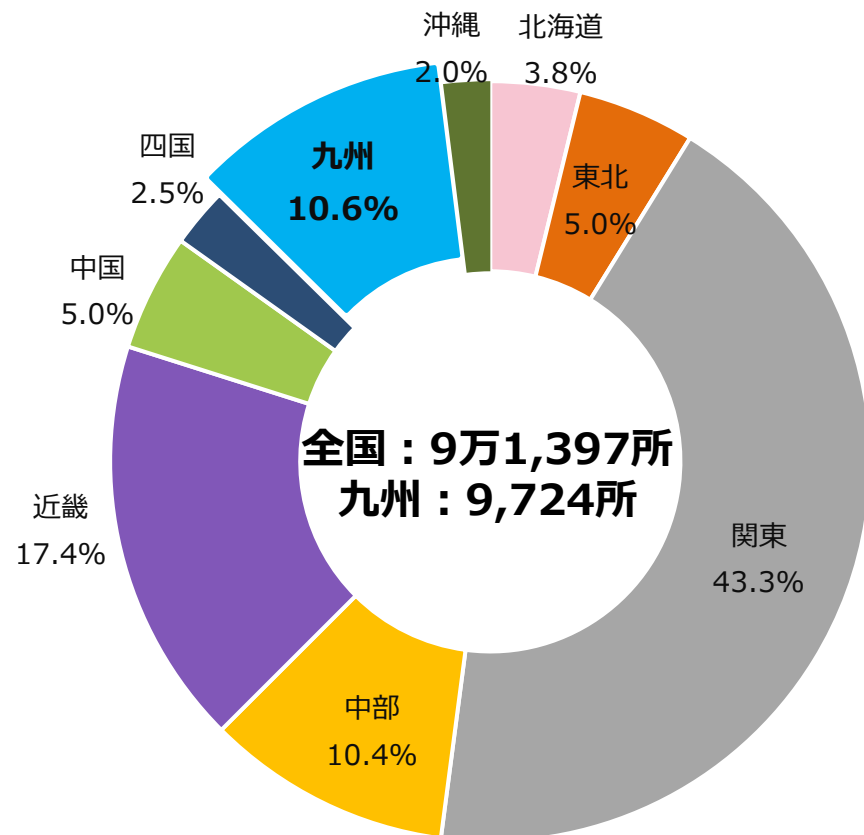
図表 8 - 2 九州の新設住宅 床面積(合計)・全国比の推移



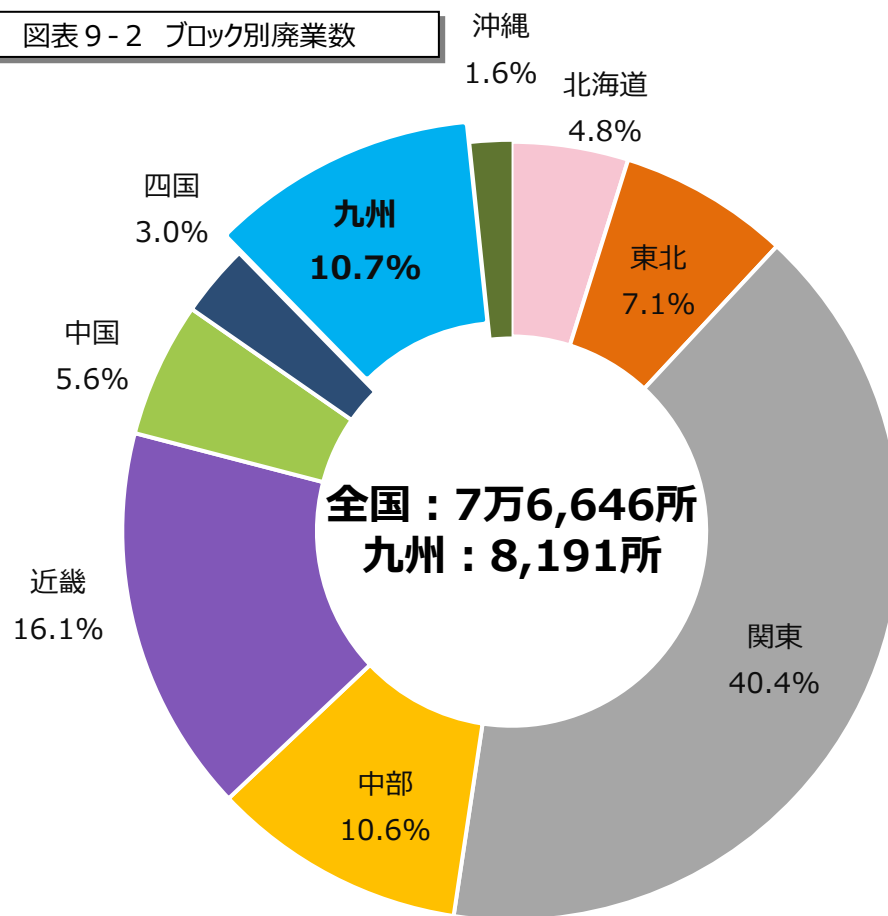
9. 開業・廃業 ー事業所数ー

2022年度に九州で開業した事業所数は9,724事業所で、全国の10.6%を占めた。また、廃業した事業所数は8,191事業所で、全国の10.7%を占めた。

図表 9 - 1 ブロック別開業数



図表 9 - 2 ブロック別廃業数



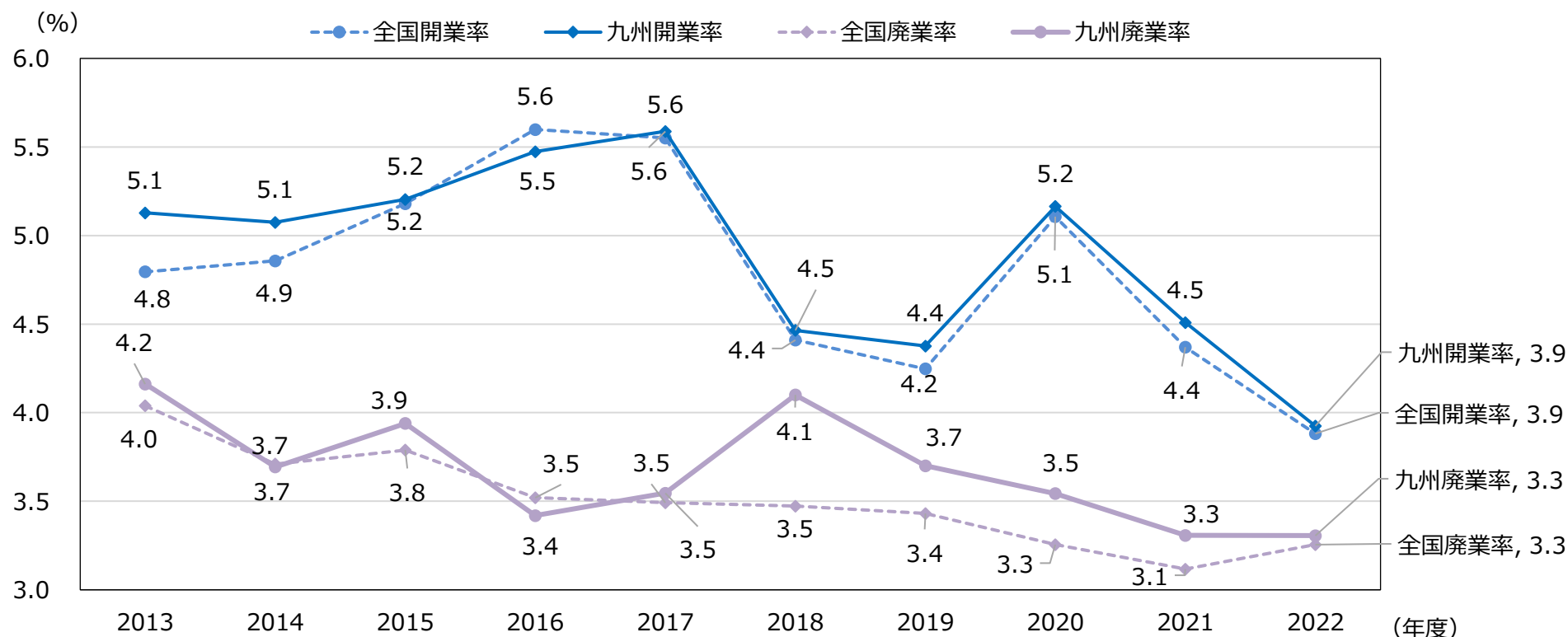
(出所) 厚生労働省「雇用保険事業年報」

(注) 上記グラフは、事業所における雇用間関係が成立、消滅したことをもってそれぞれ開業、廃業とみなしている。

9. 開業・廃業 ―開廃業率―

2022年度の九州の開業率は3.9%で2年連続で前年を下回った。また、廃業率は3.3%で横ばいとなった。九州の開業率と廃業率は全国と同水準となった。

図表9-3 九州の開業率・廃業率の推移



(出所) 厚生労働省「雇用保険事業年報」

(注) 開業率・廃業率は、以下の式により算出

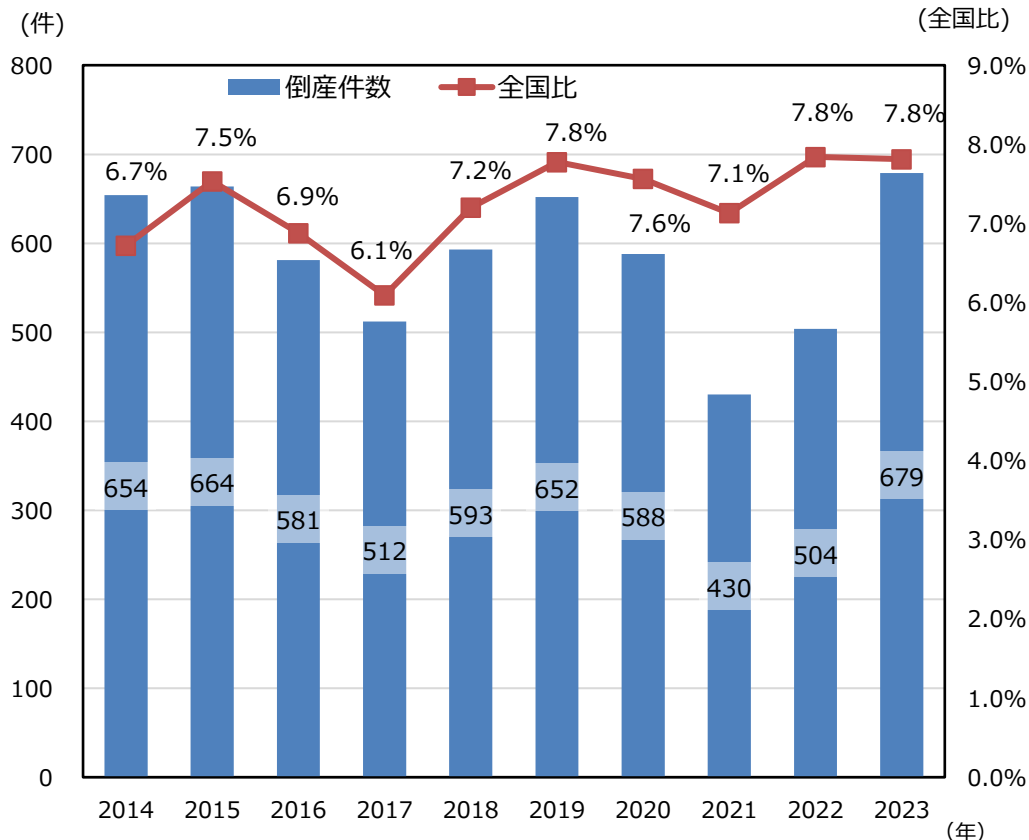
開業(廃業)率(%) = [当該年度]の保険関係新規成立(消滅)事業所数/前年度末の適用事業所数]

10. 倒産 一件数の推移、産業別件数ー

2023年の九州の倒産件数(負債額1,000万円以上)は、679件(前年比+34.7%)と2年連続で増加した。

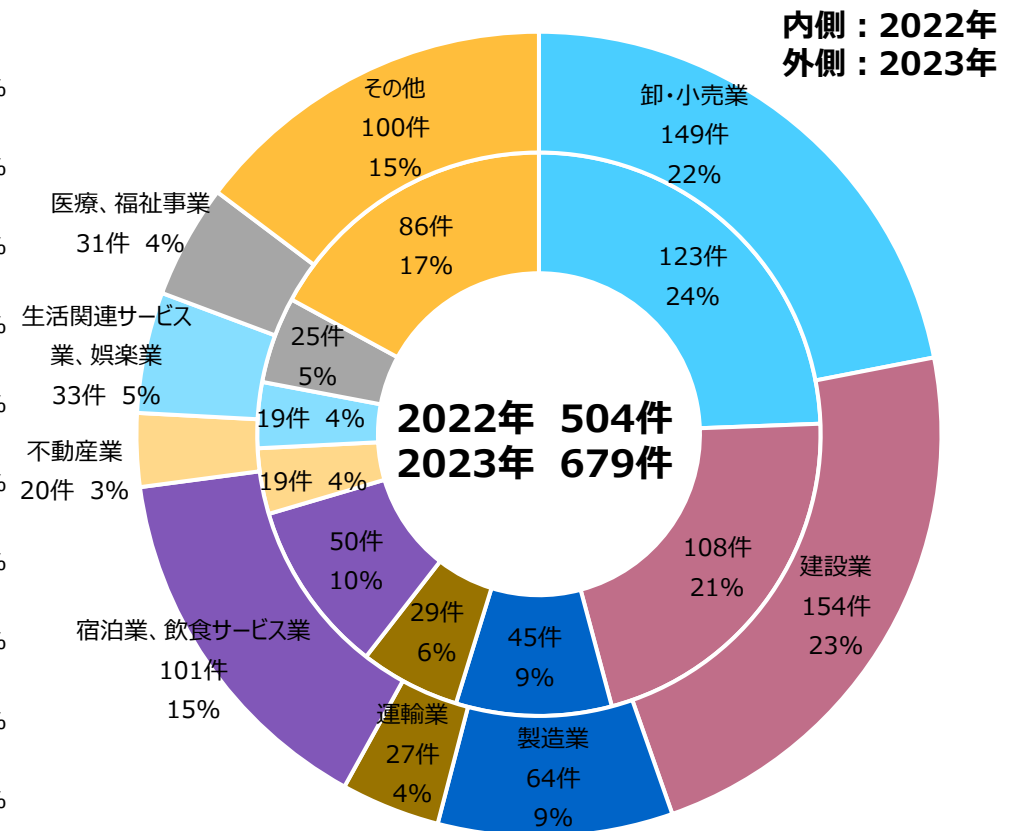
産業別件数の割合では、2022年と比較して飲食サービス業、建設業等が多くなっている。

図表10-1 倒産件数と全国比の推移



(出所) (株)東京商工リサーチ

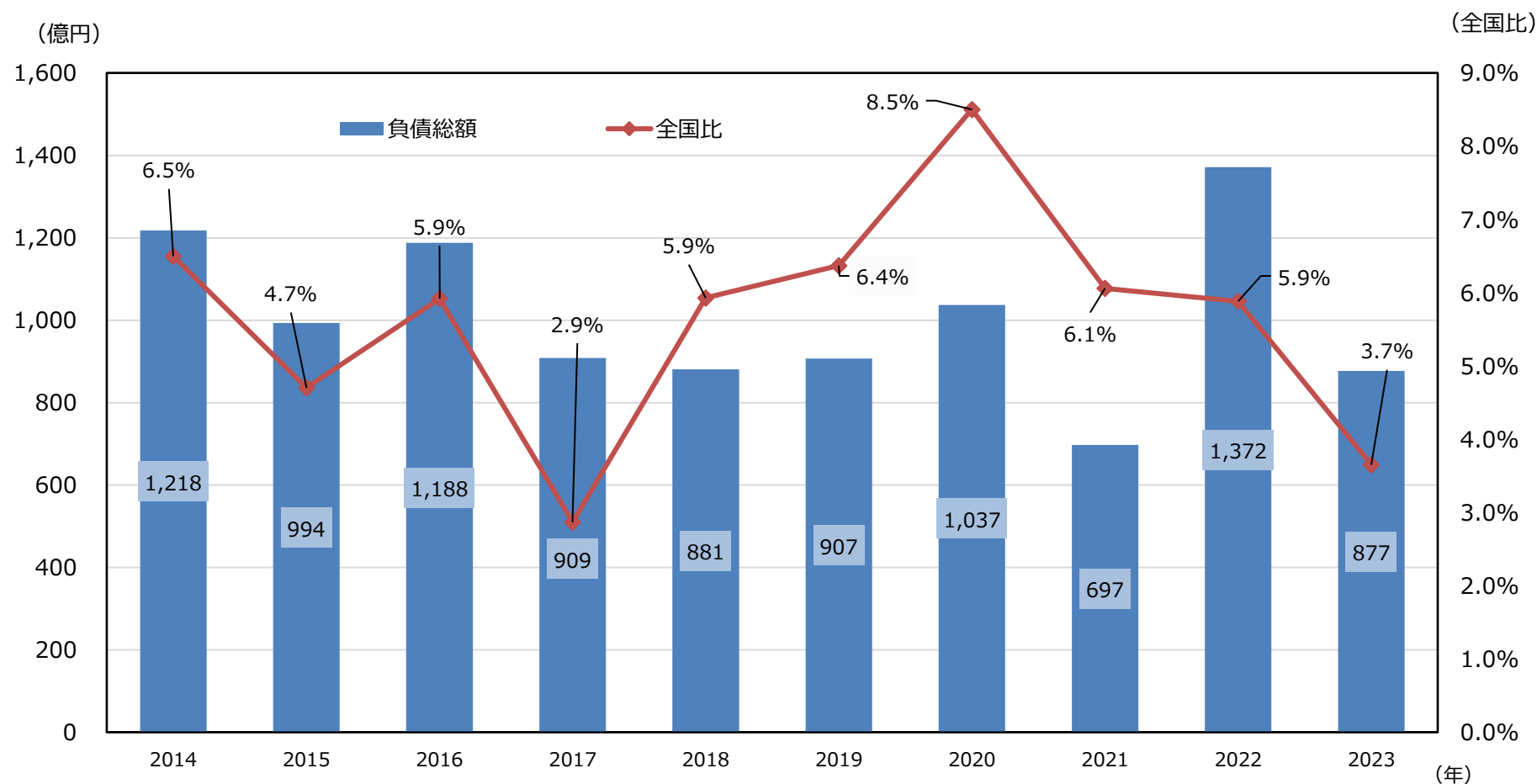
図表10-2 産業別件数、割合



10. 倒産 ―負債総額推移―

2023年における九州の倒産企業の負債総額は、877億円(前年比▲36.1%)となり、2年ぶりに減少した。

図表10-3 負債総額と全国比の推移



(出所) (株)東京商工リサーチ

[参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
1	人口（千人） 2023年	5,105	807	1,306	1,738	1,124	1,069	1,592	12,740	125,417
	国内順位	9位	42位	30位	23位	33位	35位	24位	—	—
	構成比（全国＝100）	4.1%	0.6%	1.0%	1.4%	0.9%	0.9%	1.3%	10.2%	100.0%
	生産年齢人口比	59.1%	55.9%	54.2%	55.2%	54.7%	54.1%	54.0%	56.4%	59.6%
	高齢化率（65歳～）	27.9%	30.9%	33.6%	31.8%	33.5%	33.0%	32.9%	30.8%	28.6%
2	面積（km ² ） 2024年	4,988	2,441	4,131	7,409	6,341	7,734	9,186	42,230	377,975
	国内順位	29位	42位	37位	15位	22位	14位	10位	—	—
3	世帯数（千世帯） 2023年	2,519	343	633	804	547	532	813	6,191	60,266
	国内順位	9位	43位	28位	23位	32位	34位	22位	—	—
4	就業者数(千人) 2020年	2,253	400	618	819	520	499	738	5,848	57,643
	構成比（全国＝100）	3.9%	0.7%	1.1%	1.4%	0.9%	0.9%	1.3%	10.1%	100.0%
	1次産業比率	2.4%	7.4%	6.6%	8.8%	6.1%	9.9%	8.3%	5.8%	3.4%
	2次産業比率	19.4%	23.5%	18.8%	20.7%	22.6%	20.4%	18.8%	20.1%	23.0%
	3次産業比率	74.9%	66.9%	72.2%	68.5%	69.3%	67.8%	71.1%	71.6%	70.6%
	分類不能	3.3%	2.2%	2.3%	2.0%	1.9%	1.9%	1.8%	2.5%	3.0%
5	事業所数（民営） 2021年	210,530	35,815	58,382	72,744	50,589	48,940	71,793	548,793	5,156,063
	構成比（全国＝100）	4.1%	0.7%	1.1%	1.4%	1.0%	0.9%	1.4%	10.6%	100.0%

（出所） 1, 3 :総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(令和5年1月1日現在)、2 :国土交通省「令和6年全国都道府県市区町村別面積調」
 4 :総務省「令和2年国勢調査」、5 :総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

（注）「事業所数」は、民営の事業所数。事業内容等不詳は除く。

[参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
6	県内総生産(兆円) 2020年度(名目)	18.9	3.0	4.5	6.1	4.5	3.6	5.6	46.2	558.8
	国内順位	9位	44位	30位	25位	32位	39位	26位	—	—
	構成比(全国=100)	3.4%	0.5%	0.8%	1.1%	0.8%	0.6%	1.0%	8.3%	100.0%
	1次産業比率	0.7%	2.4%	2.4%	2.9%	1.9%	5.0%	4.7%	2.2%	0.9%
	2次産業比率	20.1%	30.8%	25.4%	28.3%	31.4%	24.9%	21.4%	24.0%	26.6%
	3次産業比率	78.8%	66.6%	72.0%	68.1%	66.2%	69.6%	73.2%	73.3%	72.2%
7	県民所得(兆円) 2020年度	13.5	2.1	3.3	4.3	2.9	2.4	3.8	32.4	394.0
	1人当り県民所得(千円)	2,630	2,575	2,483	2,498	2,604	2,289	2,408	2,535	3,123
	国内順位	35位	38位	42位	40位	36位	46位	44位	—	—
8	純付加価値額(億円) 2021年	87,345	10,849	14,886	21,759	14,661	13,149	20,521	183,170	3,362,595
9	製造品出荷額等(億円) 2020年	89,519	20,283	16,229	28,195	38,463	16,368	19,828	228,886	3,020,033
	国内順位	10位	36位	42位	29位	25位	41位	37位	—	—
	構成比(全国=100)	3.0%	0.7%	0.5%	0.9%	1.3%	0.5%	0.7%	7.6%	100.0%
10	卸売販売額(億円) 2021年	164,203	9,796	15,504	24,059	12,457	16,374	23,744	266,138	4,016,335
	構成比(全国=100)	4.1%	0.2%	0.4%	0.6%	0.3%	0.4%	0.6%	6.6%	100.0%
11	小売販売額(億円) 2021年	56,780	8,290	12,493	18,859	11,867	10,764	15,292	134,345	1,381,804
	構成比(全国=100)	4.1%	0.6%	0.9%	1.4%	0.9%	0.8%	1.1%	9.7%	100.0%

(出所) 6, 7:「令和2年度県民経済計算」、8, 9, 10, 11:総務省・経済産業省「令和3年経済センサス-活動調査」

(注)「県内総生産」の産業比率は、分母を県内総生産として算出

[参考] 各県の概況

		福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	九州	全国
12	農業産出額(億円) 2022年	2,021	1,307	1,504	3,512	1,245	3,505	5,114	18,208	90,147
	国内順位	16位	24位	23位	5位	26位	6位	2位	—	—
	構成比 (全国 = 100)	2.2%	1.4%	1.7%	3.9%	1.4%	3.9%	5.7%	20.2%	100.0%
13	海面漁業漁獲量(t) 2022年	20,954	6,836	262,233	13,070	18,985	68,406	40,621	431,105	2,950,992
	国内順位	24位	36位	3位	31位	27位	10位	18位	—	—
	構成比 (全国 = 100)	0.7%	0.2%	8.9%	0.4%	0.6%	2.3%	1.4%	14.6%	100.0%
14	海面養殖業漁獲量(t) 2022年	41,237	56,050	22,783	52,584	19,564	13,034	43,703	248,955	911,839
	国内順位	10位	7位	12位	8位	13位	19位	9位	—	—
	構成比 (全国 = 100)	4.5%	6.1%	2.5%	5.8%	2.1%	1.4%	4.8%	27.3%	100.0%
15	林業産出額(億円) 2022年	136	22	62	182	214	336	114	1,064	5,100
	国内順位	10位	39位	26位	8位	6位	4位	14位	—	—
	構成比 (全国 = 100)	2.7%	0.4%	1.2%	3.6%	4.2%	6.6%	2.2%	20.9%	100.0%

(出所) 12:農林水産省「令和4年生産農業所得統計」、13,14:農林水産省「令和4年漁業・養殖業生産統計」、15:農林水産省「令和4年林業産出額」